

## 第5回 文化交流施設整備検討会

### 次第

日時：令和3年12月27日（月） 午後6時～午後8時

場所：オンライン開催

#### 1 議題

##### (1) 前回までの振り返り

- ・文化交流施設整備検討会中間報告案について
- ・事例報告（キーワード）

##### (2) その他

#### 【配付資料】

- ・資料1…（仮称）荒川区西日暮里駅前文化交流施設整備基本方針  
中間報告案（令和4年2月）
  - 別図1-1…施設の性質・役割【昼間】
  - 別図1-2…施設の性質・役割【夜間】
  - 別図2 …施設のハード面【外観】
  - 別図3 …施設のハード面【平面】
- ・資料2…第4回文化交流施設整備検討会のまとめ～事例報告～
- ・資料3…西日暮里駅前再開発文化交流施設検討のための参考施設

#### 【参考資料】

- ・荒川区再開発事業一覧図
- ・おいでよ！あらかわ（あらかわ観光マップ）
- ・あらかわ子育ておでかけMAP

**(仮称) 荒川区西日暮里駅前文化交流施設  
整備基本方針**

**中間報告案  
(令和4年2月)**

**令和4年 月  
荒川区**

## 目 次

- 1 西日暮里駅周辺の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 西日暮里駅前における文化交流施設の役割・・・・・・・・
- 3 区内文化交流関連施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 文化交流機能の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・
- (1) 図書機能
- (2) 遊び・体験機能
- (3) 集会・発表機能
- (4) 居場所
- (5) 整備に関する考え方
- 5 文化交流施設整備検討会における検討経過・・・・・・・・
- (1) 事例報告
- (2) 事例報告を踏まえた意見交換
- (3) 文化交流施設の機能、役割の整理
- (4) 具体的な検討方法
- (5) 文化交流施設の管理運営
- 6 施設整備に対する意見整理・・・・・・・・・・・・・・・・
- 7 今後の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・

## 1 西日暮里駅周辺の現状と課題

西日暮里駅前地区は、JR山手線・京浜東北線、東京メトロ千代田線、日暮里・舎人ライナーの3鉄道の西日暮里駅に隣接していることに加え、都市計画道路の放射11号線（尾久橋通り）と環状4号線（道灌山通り）が交差する交通利便性の高い地区である。

しかし、昭和46年の駅設置以前から密集した市街地が形成されていたことから、駅前にふさわしい都市機能の集積や地域の交流拠点、オープンスペース等が不足している。

そのため、区の「都市計画マスタープラン」及び「西日暮里駅周辺地域まちづくり構想」において、土地の高度利用を図ることにより、文化交流、商業・業務、住宅機能等の拠点的な都市機能を導入し、地域のポテンシャルを向上させ、「多様な魅力を備えた区内最大の広域拠点としてのまちづくり」を進めることとした。

さらに、地域の新たな魅力と活力を生み出す文化交流拠点を形成することにより、駅前にふさわしいにぎわいの創出を図るとともに、公益施設と商業施設の相乗効果により、区内外から集客を図り、地域の活性化を目指すこととしている。

については、西日暮里駅前地区再開発事業では、施行区域（約2.3ha）に住居棟と商業棟を建設し、区は、商業棟7階のワンフロア約4,000㎡を権利変換により取得し、文化交流施設の整備を予定している。

## 2 西日暮里駅前における文化交流施設の役割

区では平成31年3月に「荒川区芸術文化振興プラン(第三次)」を策定し、「区民が主役の芸術文化振興により、区民の幸福実感を高め、荒川区の魅力を内外に発信することと、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る」を基本理念に掲げ、荒川区における芸術文化の振興を計画的、継続的に進めている。

基本理念の具体化に向けて、「広げる・高める・つなぐ」の3つのキーワードを定め、5つの基本目標を設定している。その目標の中に、芸術文化に触れ楽しむ機会の提供や環境の整備を設定し、区民が仲間と一緒に芸術文化を楽しむことができるよう、文化施設をはじめとする区施設において、利便性の向上や機能充実に加え、特色のある施設づくりなど、芸術文化活動に関する環境整備の充実を図ることとしている。

また、平成30年3月に策定した「荒川区生涯学習推進計画（第三次）」において、区民が主体的に学習できるだけでなく、学びを通じて仲間や地域社会とつながり、まちづくり、芸術文化、防災、健康づくりなどの各分野において、それぞれの立場で自己実現を図りながら、自分らしく活躍することにより、幸福実感を高めていくこととしている。

さらに、平成30年5月に「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言し、本が身近にあるまちづくりを進めている。

区では、これらに先立ち、平成29年3月に開館した「ゆいの森あらかわ」において、中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばの3つの機能をシームレスに結び付けた融合施設を整備した。

こうした区の文化施策等を踏まえ、西日暮里駅前地区再開発事業において整備する文化交流施設では、区民が芸術文化に触れ、楽しむ機会を増やすとともに、学びの機会や地域社会における交流の充実によるコミュニティの醸成に寄与する施設とすることを、区としては目指すものである。

### 3 区内文化交流関連施設の概要

区内の文化交流関連施設である図書館及び文化施設、ふれあい館等の現状は次のとおりである。

#### (1) 図書館、図書サービスステーション、街なか図書館

中央図書館1館、地域図書館4館、図書サービスステーション2カ所のほか、街なか図書館48カ所を設置している。

中央、地域図書館では、閲覧、貸出、返却、レファレンスだけでなく、学習室の提供、読み聞かせ会や講習会など各種イベントを実施している。図書サービスステーションでは、閲覧、貸出、返却を主に担っている。

街なか図書館では、区施設や病院や喫茶店、クリーニング店等の民間施設内で自由に閲覧できるよう本を置いてもらい、身近なところで本に親しんでもらう環境を整備している。

#### ◎図書館等一覧（令和3年3月31日現在）

館名	延床面積(m <sup>2</sup> )	蔵書数(点)	座席数	主な機能
ゆいの森あらかわ	10,943.74 m <sup>2</sup>	399,869 点	933 席	閲覧、貸出、 返却、各種イベ ント
南千住図書館	2,686.10 m <sup>2</sup>	145,810 点	146 席	
尾久図書館	2,106.13 m <sup>2</sup>	102,394 点	300 席	
町屋図書館	1,045.44 m <sup>2</sup>	121,939 点	95 席	
日暮里図書館	1,369.66 m <sup>2</sup>	99,543 点	131 席	
冠新道図書 SS	181.44 m <sup>2</sup>	11,468 点	11 席	閲覧、貸出、 返却
汐入図書 SS	124.07 m <sup>2</sup>	13,519 点	9 席	
街なか図書館 48カ所	-	約 28,000 点		身近に本に触れ られる場を提供

#### (2) 文化、生涯学習施設

ホール等の集会機能を持つ文化施設3館のほか、100人程度の集会機能を持つ施設として、生涯学習施設、ゆいの森ホール、ふれあい館多目的室等において、各種イベント等を実施している。

◎ホール、多目的室一覧

名称	延床面積(m <sup>2</sup> )	利用定(人)	主な機能
サンパール荒川 大ホール	1,162 m <sup>2</sup>	975 人	コンサート・式典・ 発表会・講演会等
サンパール荒川 小ホール	281 m <sup>2</sup>	300 人	講演会・会議・研修等
日暮里サニーホール	404 m <sup>2</sup>	500 人	コンサート・講演会・ ファッションショー等
日暮里サニー コンサートサロン	113 m <sup>2</sup>	100 人	発表会・講演会等
ムーブ町屋ホール	230 m <sup>2</sup>	296 人	コンサート・講演会・ 発表会等
町屋文化センター 多目的ホール	188 m <sup>2</sup>	154 人	講演会・各種教室・音 楽会等
ゆいの森ホール	237 m <sup>2</sup>	128 人	各種講座・読書会・ トークショー等
ふれあい館多目的室 (15カ所)	約 127~312 m <sup>2</sup>	60~180 人	運動・集会・地域活動 等

(3) ふれあい館

地域のふれあいを育むコミュニティ活動の場として、ふれあい館を設置している。ふれあい館では、和室、洋室、プレイルーム、音楽室、創作室、調理室、多目的室等の貸室において、区民が自ら進める学習やサークル活動の場として利用するほか、乳幼児おはなし会や小学生一輪車教室などの児童事業、健康ストレッチや盆踊り、ころばん体操などの高齢者事業、地域まつりなどの多世代交流事業などを展開している。

◎ふれあい館15館(令和3年3月31日現在)

館名	延床面積 (m <sup>2</sup> )	乳幼児・ 児童事業	大人・ 高齢者事業	主な施設内容
石浜	1,105.06 m <sup>2</sup>	15,462 人	7,131 人	多目的室、洋室 和室、創作室 プレイルーム、 調理実習室、 茶室、音楽室
南千住	1,419.15 m <sup>2</sup>	12,342 人	7,230 人	
南千住駅前	1,037.45 m <sup>2</sup>	11,983 人	9,735 人	
汐入	1,378.63 m <sup>2</sup>	12,843 人	6,786 人	
峡田	1,767.90 m <sup>2</sup>	9,537 人	10,017 人	
荒川山吹	1,230.26 m <sup>2</sup>	5,498 人	9,042 人	
町屋	1,494.30 m <sup>2</sup>	12,806 人	9,394 人	
荒木田	1,215.43 m <sup>2</sup>	18,467 人	9,192 人	
尾久	2,138.51 m <sup>2</sup>	13,203 人	15,554 人	
西尾久	1,189.16 m <sup>2</sup>	10,020 人	7,960 人	
東日暮里	1,176.87 m <sup>2</sup>	3,730 人	5,221 人	
夕やけこやけ	1,570.00 m <sup>2</sup>	7,571 人	7,973 人	

館名	延床面積 (m <sup>2</sup> )	乳幼児・ 児童事業	大人・ 高齢者事業	主な施設内容
西日暮里	1,261.63 m <sup>2</sup>	6,612 人	7,922 人	
東尾久本町通り	1,592.56 m <sup>2</sup>	-	-	4年4月開館
ひぐらし	2,331.10 m <sup>2</sup>	-	-	4年4月開館

#### 4 文化交流機能の現状と課題

区では、庁内関係部署で検討し、賑わいを創出し、学びの機会や交流の充実、読書を身近に感じるために必要な機能として、図書機能、遊び・体験機能、集会・発表機能、居場所とする方向で、令和2年10月14日及び11月17日、令和3年1月8日の文教・子育て支援委員会に報告した。

これまで検討してきた各機能の現状と課題及び整備に関する考え方は、次のとおりである。

##### (1) 図書機能

- ① 区は「読書を愛するまち・あらかわ」として、読書を推奨している。
- ② 区政世論調査によると1か月に本・雑誌を全く読まない人が約30%いるほか、過去1年間の図書館を利用頻度が、0回が51%、年1～2回が16%となっている。特に中学、高校と段階が進むにつれ、読書離れの傾向がある。
- ③ 誰もが気軽に本を手にとることができるよう、区では図書館等に加え、街なか図書館を開設している。
- ④ 図書館利用者アンケートによると、図書館に学習スペース、グループ学習ができる場、飲食や会話も楽しめ、ゆっくりと過ごすことができる場を望む人の割合が高く、書籍とのふれあいだけでなく、集い、知的活動を行えるような滞在型の空間が求められている。

##### (2) 遊び・体験機能

- ① 区では、荒川区自治総合研究所の「自然体験を通じた子どもの健全育成研究プロジェクト報告」により、自然体験が子どもの健全育成には非常に重要であることから、学校のビオトープづくりや三河島菜の活用などの日常の自然体験や交流都市でのブナの植林や田植えなどの非日常の自然体験など子どもの発達段階に応じたプログラムを実施している。
- ② 遊び・体験には、最先端のテクノロジーを駆使した遊びやキャンプのような自然体験、学びやものづくり等を通して人生を充実させる学習体験、ワークショップなど人と交流し、成長のきっかけとなるような体験など、様々な分野がある。
- ③ 民間企業等が最新のICT技術を活用し、新しい遊びや体験、講座を実施するなど、遊び・体験の幅が広がり、選択肢が拡大している。
- ④ 新しいことに関心を持ち、自らの体験を深めていくためのきっかけづくりの場が身近な場所にあることで、世代も生活環境も違う様々な方の

ニーズに応じていくことができる。また、繰り返し参加しようと思わせる工夫が必要である。

- ⑤ 遊びや学び、ものづくりを通して体験し、インプットしてきたことをアウトプットし、交流できる場も併せて必要となる。

### (3) 集会・発表機能

- ① 集会・発表機能は、区民の文化活動の促進や生涯学習の支援において重要な役割を果たしている。
- ② 区内には多くのホールが既に整備され、集会や発表等のイベントが開催されているが、イベントの参加者だけの利用にとどまり、利用者や来場者間の交流を図るような仕組みとなっていないといった課題がある。
- ③ 椅子が固定式のホールについては、用途が限定されている。
- ④ 集会室などについてもいつも決まった人だけの利用になってしまう傾向にある。
- ⑤ ふれあい館は住宅が隣接しているところが多いため、大きな音を発するイベントなどの催事の開催については制限されている。
- ⑥ 地域のおまつりなどのイベントはふれあい館全体を活用して開催している。

### (4) 居場所

- ① ふれあい館は、誰でもが自由に来館し、憩うことができる場所であり、ふれあい館整備ニュープランでは区全体で20館の配置を計画し、現在15館が配置されている。児童事業や高齢者事業、多世代向け事業を実施しているが、中高生の利用は少ない状況にある。
- ② ゆいの森あらかわ、尾久図書館などの図書館においても、学習席や閲覧席だけでなく、くつろげる椅子等を配置することで、区民の憩いの場となっている。
- ③ このような施設における居場所は利用時間や曜日によって利用者の属性が変わるほか、利用目的もそれぞれに異なっている。
- ④ 飲料や軽食を食べることができる場が施設内にあることで、施設の滞在時間が延びる傾向にある。

### (5) 整備に関する考え方

施設を整備するにあたり、整備に関する基本的な考え方は、次のとおりである。

- ① 可変性  
再開発事業が完了するまでに一定期間を要し、合わせて文化交流に関する機能は時代とともに大きく変化することが予測される。整備後においても、様々な利用に対応できるよう可変性を持つことが必要である。
- ② 整備すべき機能  
本施設の機能は、区内にある既存の文化交流施設の現況や区民や専門家などからの意見等を踏まえ、西日暮里駅前という立地の優位性も考慮しながら定める必要がある。



③ 融合

本施設は広い空間と上下階との連携など相互に融合した一体性、連続性を持たせる必要がある。

④ ゾーニング

自由な発想を生かせる構造検討をフロア全体で行う必要がある。

## 5 文化交流施設整備検討会における検討経過

区では令和2年度までの検討を踏まえ、令和3年8月に文化交流施設整備検討会（以下「検討会」という。）を設置し、学識経験者、区議会議員、区民等により、本施設に設置すべき機能や期待される役割等について、各委員からの事例報告及び意見交換を行った。

### （1）事例報告（第4回まで）

- ① 北九州市山田緑地でのパルパークプロジェクトについて
- ② 若者のためのユースセンターの作り方について
- ③ ワークショップによる区民参画について
- ④ 都市観光について

### （2）事例報告や検討会での意見等を踏まえた整理

#### ① 日常と非日常・異日常との連続性

普段の生活をする中で、労働や学習などの義務的な活動から自由になる時間が必要であり、また、活動の種類を問わず、柔軟な時間配分と時間のデザインが可能となる時間、そしてそれにより自由を感じることでできる時間を作り出すことが必要である。それが余暇であり、自由時間である。

観光は余暇時間の中で日常生活圏を離れて行う様々な活動とされている。観光の対象や素材となるものが、分かりやすい文化財から非日常というほどかけ離れているものではなく、ちょっと異なる日常というものにも対象が広がっている。

都市的な生活をしている中で、非日常や異日常を感じられる空間、時間があることは癒しや学びを提供してくれるものであり、週や月に1回、年に1回、体験する場合もあれば、1日の自由時間を過ごす中で得られる場合もある。日常生活圏の中で日常と非日常、異日常との連続性による自由時間を過ごせる場が求められている。

#### ② 無目的を許容する空間と時間

自由時間には、個人の楽しみのための時間や将来の生活や社会の充実につながる時間、他者のために行うボランティア活動などの時間など目的をもった活動がある一方で、明確な意図を持たない行動もある。

人がある場所を訪れることに必ずしも目的は必要なく、無目的を許容する空間と時間を意図的に創り出された場があることが大切である。

そのためには、居心地の良い椅子やテーブル、カフェのような空間などを配置し、自由に人々が集えるようにしていく必要がある。

#### ③ 区民参画の必要性

子どもの参加には8つのレベルがあり、「参画のはしご」として表現している。大人が主催する行事に子どもが参加するものは、まだ3段目であり、子どもの参画になっていない。

子どもが主体的に取り掛かり、子どもに決定権があるレベルが7段目であり、その上の8段目は、子どもが主体的に取り掛かり大人と一緒に決定するレベルとであり、子どもと大人が平等の関係でお互いに信頼し合っている状況である。また、大人の参画がなければ、子どもの参画が生まれる可能性は非常に少ないと言われている。

公園での子ども向け焚き火イベントでは、初日に大人に対する焚き火養成講座を開催し、火打ち石やファイヤースターターで火をつけ、その火を育てていくことを教わり、その経験を翌日2日目には、焚き火イベントに集まった子どもたちに教えている。このやり方により、持続可能な公園が実現できるよう人づくりを行っている。

本施設においては、利用者となる区民が参加ではなく、参画する施設とすることが必要であり、それにより地域ぐるみで盛り上げていく社会としていくことができる。そのためには時間がかかっても、参画を促す努力をすべきである。

区民参画ができる施設とするために、区民の意見聴取や主体的な取組、そして決定ができるようにしていく必要がある。

### (3) 文化交流施設の機能、役割についての整理

検討会での意見をまとめ、以下の2つの軸（日常と非日常・異日常、目的と無目的）によって整理を進めている。2つの軸を4つの象限に分け、想定される利用イメージ等を整理すると別図1のとおりとなる。

2つの軸に加え、時間軸（昼間・夜間や平日・休日など）による利用の違いもある。

#### ① 日常+目的

- ・学生や社会人などが帰宅前や休日などに仕事や勉強などのために個人やグループで利用する。
- ・日中にラウンジでテレワークする。社会人向け勉強会に参加する。
- ・読書や子どもと一緒に読み聞かせ会に参加し、楽しむ。
- ・美術や音楽、スポーツなど少しレベルの高い教育の場を提供する。

#### ② 日常+無目的

- ・出入り自由な場所なので、気が向いた時にふらっと立ち寄り、のんびりと過ごす。
- ・ゆったりと読書に親しみながら、地域文化の情報を知る。
- ・夜は落ち着いた雰囲気の中で静かに読書する。
- ・窓からの眺望を楽しむ。景色や夜景を眺めながらコーヒーを楽しむ。
- ・電車を見ながら図鑑やジオラマで電車を探す。
- ・いつもの仲間と集ったり、おしゃべりを楽しむ。
- ・買い物をついでに7階も巡る。

③ 非日常・異日常＋目的

- ・自分ではやったことない新しい体験イベントに参加する。
- ・親子で、地元商店街と連携したものづくり体験ができる。
- ・子どもが職業を考えるきっかけになるような資料の提供や相談、職業体験ができる。
- ・利用者それぞれの興味に合わせて活動、体験ができる。
- ・囲碁や将棋、けん玉など高齢者と子どもが一緒になって遊ぶ。
- ・デジタル技術を活用した3D映像やVR体験ができる。

④ 非日常・異日常＋無目的

- ・いつもとは違う雰囲気を楽しむながら、リラックスして好きなことをする。
- ・家庭や職場・学校の他に、サードスペースとして自分の社会的立場を気にせず気軽に集まり交流できる。

(4) 具体的な検討方法

検討会で参考となる施設や機能等を取り上げ、今後の検討会での機能の具体化の参考とするとともに、イメージの共有化を図る。

さらに、施設の利用者となる区民の意見を取り入れるためのワークショップ等の開催について検討を行っていく。

○ 参考となる施設等の特徴

- ① 利用が無料で自由に参加できる施設  
(例：希望丘青少年交流センターアップス、ゆう杉並)
- ② 図書館、生涯学習センター、市民活動などの複合施設  
(例：武蔵野プレイス、大和市文化創造拠点シリウス  
信州・学び創造ラボ、立川まんがぱーく)
- ③ 企業等と連携して職業体験ができる施設  
(例：子どもクリエイティブタウン「ま・あ・る」)
- ④ 買い物だけでなく、居場所や回遊できる空間がある施設  
(例：国分寺cocobunji カフェローカル、函館蔦屋書店、渋谷PARCO)
- ⑤ デジタル技術を活用した体験施設、屋内子どもの遊び場  
(例：ずかんミュージアム銀座、立川PLAY! MUSEUM と PARK)
- ⑥ ワークショップで施設の回遊性をデザインした複合施設  
(例：太田市美術館・図書館)
- ⑦ ボランティアが活躍する施設  
(例：山田緑地×パルパーク)
- ⑧ ユニバーサルデザインの施設  
(例：としま区民センタートイレ、スターバックス nonowa 国立店)

(5) 文化交流施設の管理運営

施設の管理運営については、区民サービスの向上や民間事業者の参入の可能性等を踏まえ、以下の視点によりさらに検討を行っていく。

- ① 様々な世代が集い、楽しめるようなサービス

- ② 多くの人が何度も訪れたいくなるようなサービス
- ③ 新たな利用者を呼び込むことができるようなサービス
- ④ 利用者を飽きさせないようリニューアル
- ⑤ 民間事業者の参入による魅力向上と区の財政負担の軽減
- ⑥ 商業施設、コンベンション施設とのコラボレーション
- ⑦ 区民が愛着を持って参画できる仕組み

## 6 施設整備に対する意見整理

文化交流施設の整備について、再開発事業として計画上の制約もあるが、検討会での意見について下記のとおり整理し、準備組合に必要なに応じて要望していく。

### (1) 施設（別図2、別図3参照）

- ① 商業施設のさらに上の階には、目的がない限り行かないため、わざわざここに来たいと思わせる「何か」が必要である。
- ② 外から施設外観を見て、上層階へ行ってみたいと思える、目を惹くディスプレイなどが必要である。
- ③ 屋上を公園のように使用できると活用イメージが広がる。
- ④ 眺望が楽しめる施設としてほしい。西日暮里らしい眺望がわが街のアイデンティティに繋がっていく。
- ⑤ 商業棟の顔となる1階、もしくは2階には魅力的な店舗に入ってもらいたい。
- ⑥ 商業施設との回遊性を持たせたエレベータやエスカレータの配置が必要である。また上下階との回遊性を高めるために、エレベータ等による動線の工夫やわかりやすいサイン等を適宜表示する。
- ⑦ 駅を利用しない人や車で移動する人のために、駐車場の整備や駐車場からの動線をわかりやすくする。
- ⑧ 魅力ある施設、活動場所などの主要素とショッピング施設などの二次的要素が連携し、地域ブランドとして空間を作り上げていく必要がある。
- ⑨ 再開発ビル全体が地域の拠点となるよう事業者との連携が必要であり、イベントの同時開催などによる相乗効果を作っていく必要がある。
- ⑩ トイレなどは特徴のあるトイレにするほか、ジェンダーフリーのトイレなど施設全体でデザインしていくのがよい。

### (2) 周辺地域との連携

検討会では、都市観光の視点において、施設整備とともに周辺地域の魅力向上や一体的な情報発信についても意見が交わされた。それを踏まえて、西日暮里周辺について別図4のとおり目指すべきイメージを整理する。

- ① その地域が持っている暮らしぶりや歴史が積み重ねられて作られているものに、人々は価値を感じ、魅力を感じて、訪れようとする。

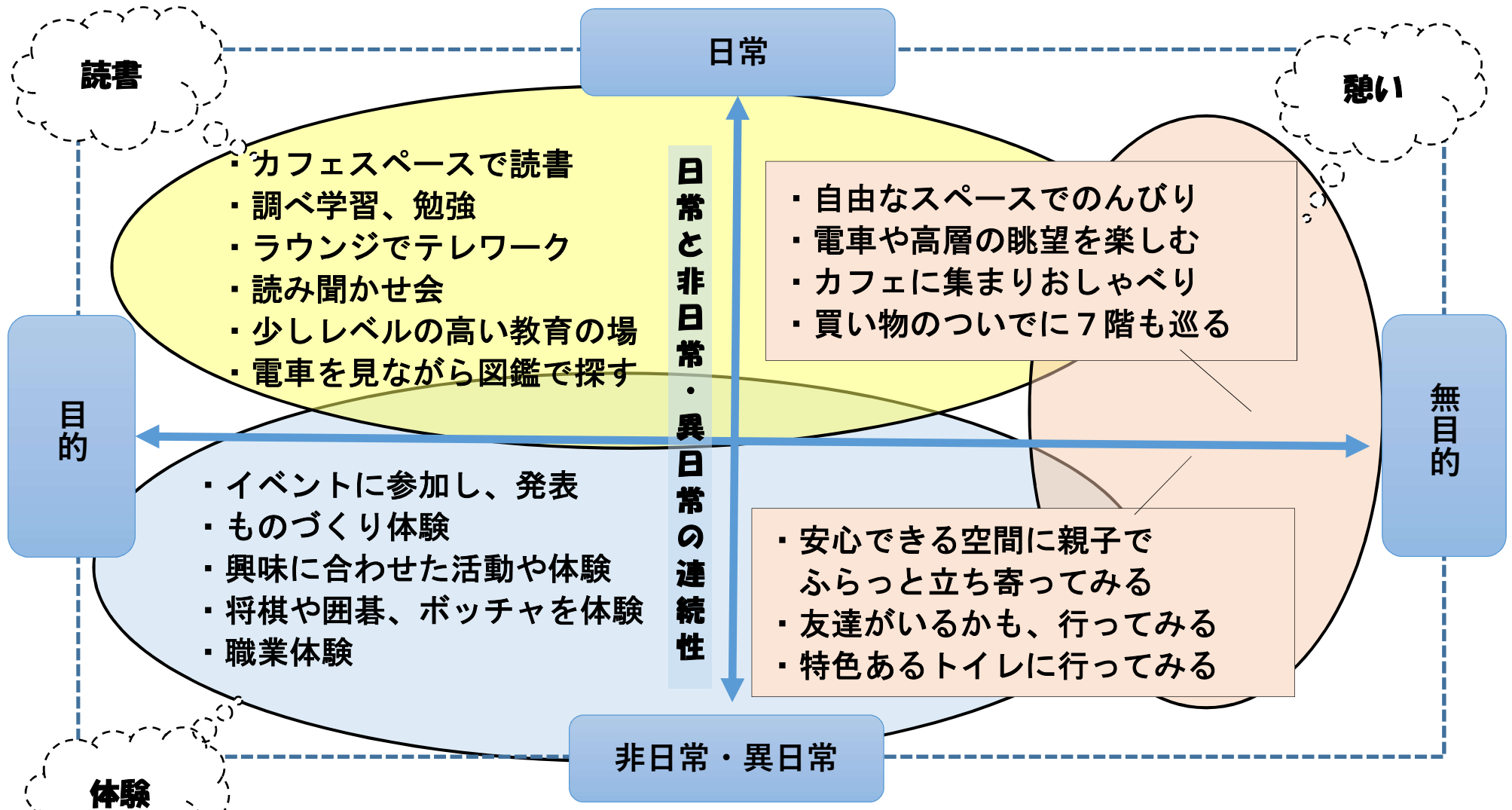
- ②人々が集う交流拠点である都市観光は、主要素となる観光施設（文化財や文化施設）とともに周辺地域のショッピング施設や宿泊施設、道路や広場などの建物と建物の上に広がる空地などの二次的要素や付随的要素の魅力づくりが重要である。
- ③「住んでよし、訪れてよし」とすることが、魅力的なまちであり、西日暮里が区民の方たちに愛される施設となって、それがロコミなどの波及効果で電車に乗ってでも来てもらえる施設を目指したい。
- ④これまで区では再開発事業を町屋地区、日暮里地区、南千住地区で実施してきており、南千住地区ではマンション住民が一体となって地域の公共施設や商業施設を支えている。こうした事例を参考に、地域に愛される文化交流施設、さらには再開発事業になってほしい。

## 7 今後の進め方

中間報告を公表し、議会、区民から広く意見を募り、それを踏まえて、最終報告に向けて、検討会において議論を重ねていく。

# 第4回文化交流施設整備検討会までのまとめ①

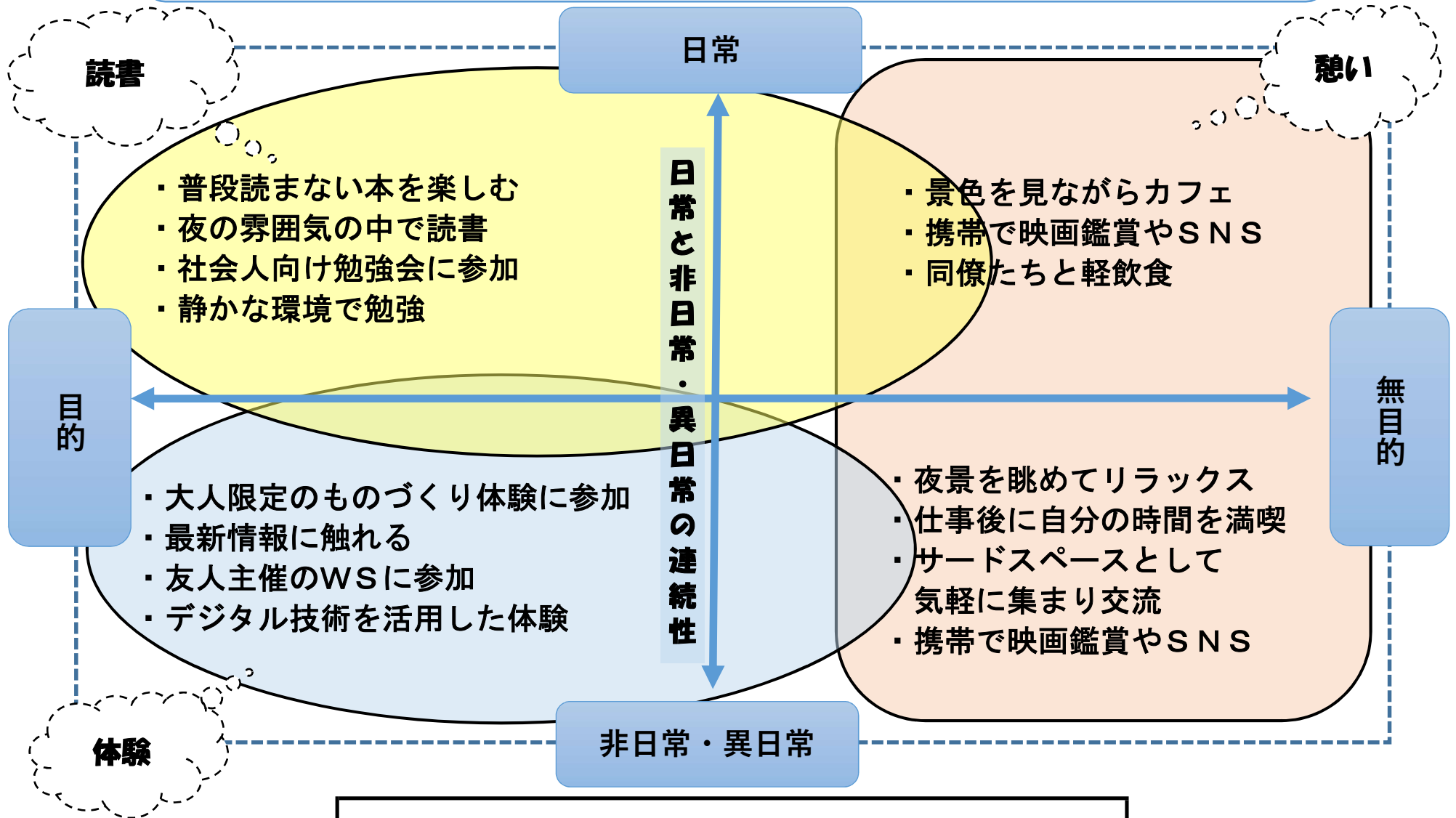
## 「施設の機能・役割」【昼間】



日常と非日常・異日常、目的と無目的の2つの軸に加え、平日と休日の時間軸においては施設の機能、役割が変わる。

# 第4回文化交流施設整備検討会までのまとめ①

## 「施設の機能・役割」【夜間】

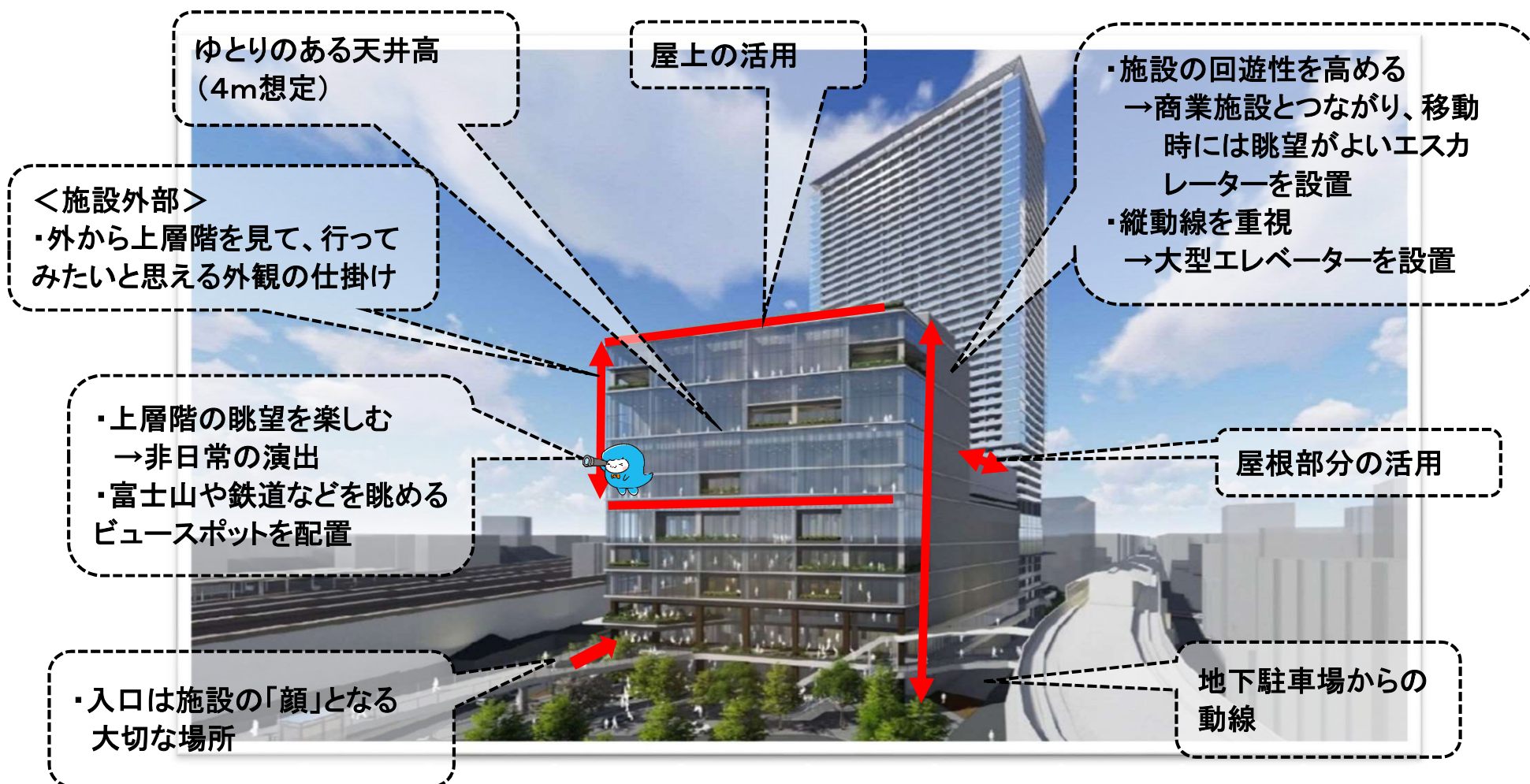


昼間と夜間といった1日の時間軸においても、施設の機能と役割に変化がある。



第4回文化交流施設整備検討会までのまとめ②

「施設のハード面」【外観】

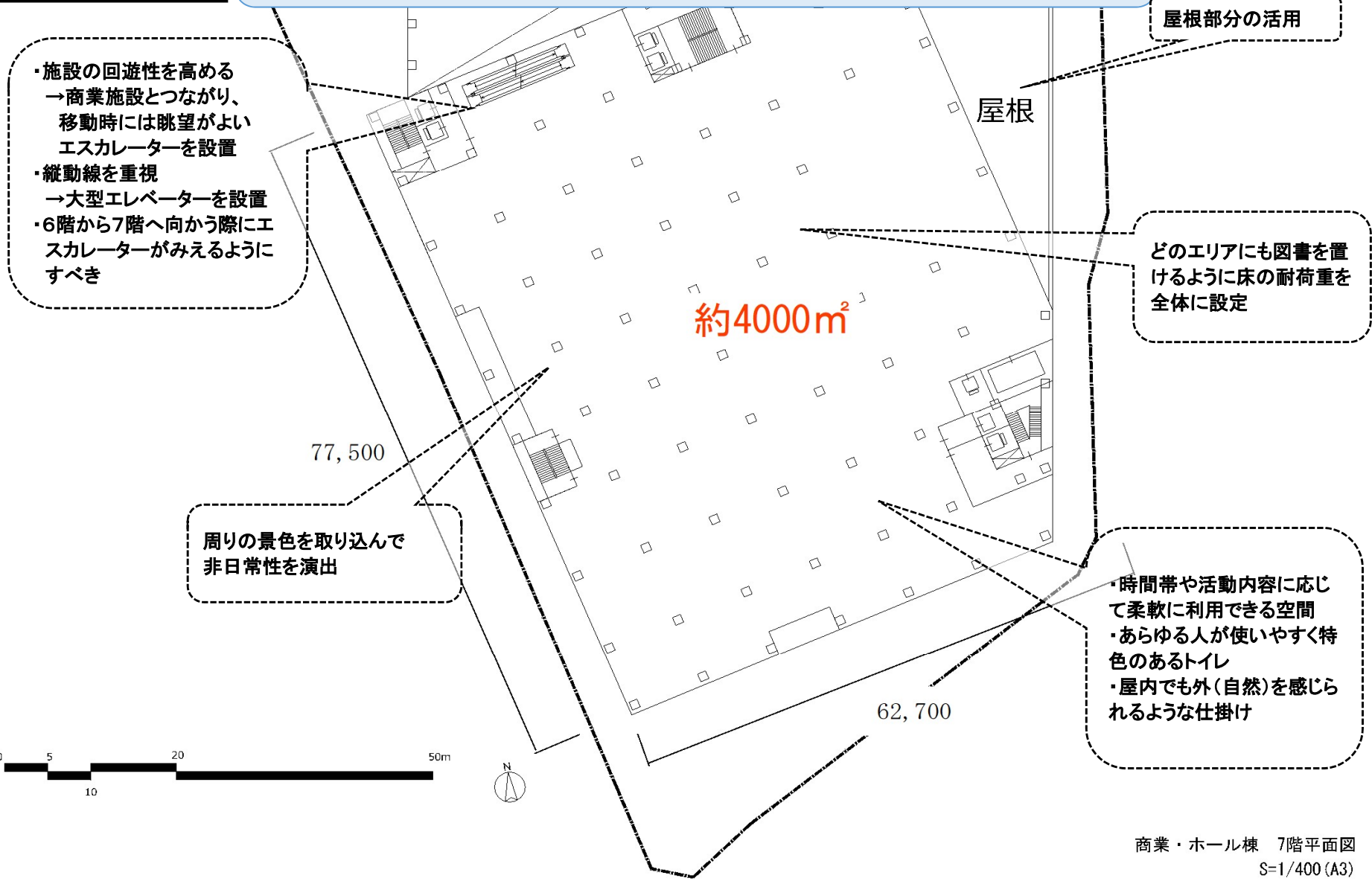


※施設のデザインは今後変更となる可能性があります。

第4回文化交流施設整備検討会までのまとめ③

「施設のハード面」【平面】

商業棟7階平面図



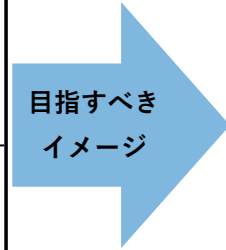
商業・ホール棟 7階平面図  
S=1/400 (A3)

# 第 4 回文化交流施設整備検討会のまとめ ～事例報告～

		アーバン・ツーリズム		西日暮里文化交流施設、西日暮里周辺 で考えると…	
主要素	活動場所 (観光施設)	文化施設	劇場、ホール、映画館、展示会、博物館	文化施設	読書、憩い(7階) コンベンション施設(8～9階)・・・など
		スポーツ施設	インドア、アウトドア	体験	ものづくり、ボッチャ、キャンプ、仕事体験施設、友人主催ワークショップ(7階)・・・など
		遊興施設	カジノ、ナイトクラブ、イベント、祝祭		
	レジャー環境(狭義の観光施設)	外見的特徴(ハード)	歴史的通り、興味深い建物、古い彫刻、公園、水辺	外見的特徴(ハード)	電車や高層(富士山)の眺望、行ってみたいと思える外観、諏訪神社等の寺社仏閣、下御隠殿橋・・・など
社会文化側面(ソフト)		言語、固有の習慣、衣装、民間伝承	社会文化側面(ソフト)	谷中商店街、日暮里繊維街・・・など	
二次的要素		ホテル、ショッピング施設、市場	ショッピング・飲食施設(1～6階)、諏訪神社等の寺社仏閣、開成学園、下御隠殿橋、居場所(カフェ等)空間(7階)・・・など		

【出典：クリストファー・ロー「アーバン・ツーリズム」一部改編、羽生委員加筆】

- ・エリア全体が魅力的
- ・わざわざ行きたくなる場所
- ・地域を周遊するための要素



西日暮里駅前再開発  
文化交流施設検討のための参考施設

No.	施設名	公・民	所在地	延床面積 (㎡)
1	希望丘青少年交流センター (アプス)	区立	世田谷区	不明
	主に39歳までが気軽に立ち寄り使える施設、学習室や音楽スタジオなどフリースペースなど諸室あり、若者と地域関係団体による運営委員会の協働、コンセプトは「家にも学校にもないものを」			
2	ゆう杉並	区立	杉並区	2,895㎡
	中高生のための児童館、荻窪の住宅街の一角にある、中高生の様々な問題解消のため、平成9年に開設、中高生の運営委員会を設置し中高生自身が運営に関わっている			
3	武蔵野プレイス	市立(指定管理)	武蔵野市	8,871㎡
	JR武蔵境駅から徒歩1分、公園と一体的に建設、図書機能・生涯学習支援・市民活動支援・青少年活動支援機能がある複合施設、青少年優先のスペース・料金区分がある			
4	大和市文化創造拠点シリウス	市立(指定管理)	神奈川県大和市	26,003㎡
	小田急線大和駅から徒歩3分、再開発(既存ホールと図書館老朽化)により開設、図書館・芸術文化ホール・生涯学習センター・屋内こども広場のある複合施設、カフェと有料の読書スペースを有する			
5	信州・学び創造ラボ	県立	長野県長野市	900㎡
	JR長野駅から徒歩10分、人と人が繋がり学びあい、新たな社会的価値を創造する場として県立図書館の3階に開設、ワークショップや体験機能に3Dプリンタなどがあり、やってみたいを創造する場			
6	立川市まんがぱーく	市立(指定管理)	立川市	687㎡
	JR立川駅から徒歩13分、旧市役所跡地の改修により開設、子育て・教育・市民活動・文化芸術活動支援のための複合施設、秘密基地のような空間でまんがや絵本を閲覧可能、飲食可能なカフェと屋外空有			
7	こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」	市立(指定管理)	静岡県静岡市	1,800㎡
	JR清水駅から徒歩1分、駅前再開発ビル内3・4階、子どもの仕事体験・ものづくり体験施設、地域の商店街・企業・大学などの地域と連携している、子どもの入館は無料			
8	国分寺 カフェローカル	市立(指定管理)	国分寺市	20席程度
	JR国分寺駅から徒歩5分、駅前再開発ビル5階に開設、同フロアの市の魅力発信コーナーや市民広場と連携し、市民に市の魅力を感じてもらうため地産地消の飲食や市民ネットワークを活かしている			
9	函館蔦屋書店	民間	北海道函館市	9,508㎡
	函館駅から車10分、書籍販売以外にカフェ・雑貨など様々なテナントが入っている、個人主催のワークショップも可能、コンセプトは地域の人が気持ちよく過ごせる「居場所」、民有地に開設			

西日暮里駅前再開発  
文化交流施設検討のための参考施設

No.	施設名	公・民	所在地	延床面積 (㎡)
10	渋谷PARCO	民間	渋谷区	63,856㎡
	JR渋谷駅から徒歩8分、屋外の通路・階段で地上と10階をつなぐことにより、まちと融合した建物となっている、屋外空間や渋谷区主体の事務所を館内に誘致し地域貢献も目指す			
11	ずかんミュージアム銀座	民間	中央区	不明
	JR有楽町駅から徒歩4分、東急プラザ銀座6階に開設、小学館の図鑑NEOの世界にデジタルとリアルで入り込める新感覚の体験型施設			
12	立川 PLAY! MUSEUMとPARK	民間	立川市	5,066㎡
	JR立川駅から徒歩8分、滑走路跡地の商業エリア内に開設、絵本の世界観が楽しめるミュージアムのテーマは「絵本とことば」、身近な素材で自ら遊びを見つけるパークのテーマは「未知との出会い」			
13	太田市美術館・図書館	市立	群馬県太田市	3,169㎡
	東武伊勢崎線太田駅から徒歩1分、駅前再開発により開設、設計にあたり市民とワークショップをし図書館と美術館が絡み合うゾーニングを決定、ワークショップにより完成後も市民の拠り所となっている			
14	山田緑地×パルパーク・プロジェクト	市立(指定管理)	福岡県北九州市	140ha
	自然環境を守りながら市民の憩いの場として開設、コンセプトは「子どもたちにたくましく生きていく力を!」、焚き火養成講座では生徒が講師になるなど、自然を勉強しながら人との繋がりも生まれる			
15	としま区民センター トイレ	区立(指定管理)	豊島区	—
	JR池袋駅から徒歩8分、豊島区役所庁舎・ホール再開発で完成したハレザ池袋内に開設、ユニバーサルデザインのトイレや親子スペース、フィッティングスペースのほか、男女兼用トイレがある			
16	スターバックスnonowa 国立店サイニングストア	民間	国立市	83席
	JR国立駅直結、聴覚に障がいのある店員が中心に運営しており、主なコミュニケーションは手話、多様な人が自由に過ごし活躍できる居場所を目指したダイバーシティ&インクルージョン象徴店舗			



指定管理者：合人社計画研究所グループ

子ども未来センターは、旧市役所跡地を改修し、子育て、教育、市民活動、文化芸術活動を支援するとともに、イベント実施などによって地域のにぎわいを生み出す複合施設です。

市役所跡地であるこの空間をどのように活用していくか、市民参加での検討などを経て、2012年12月25日にオープンしました。

管理運営は、各機能のノウハウを持った民間事業者によって行われています。

子ども未来センターには、「子育て・教育支援」「文化芸術活動の支援」「市民活動支援」「にぎわい創出」「行政機能の補完」の大きく5つの機能があります。

地下1階、地上2階の館内には、子育てひろば、会議室、アトリエ、ギャラリー、スタジオ、協働事務室、立川まんがぱーくなど、様々な用途にあわせた空間があります。

子育て・教育相談、子育てひろばなど、子どもや子育て家庭にとって「頼りがいがある」「子どもと一緒に訪れたい」、また、市民団体によるコミュニティプログラムの展開、文化芸術講座の開催、イベント開催、立川まんがぱーくなど、来場される方にとって「来たらワクワクする」場を目指します。

多様な機能を持つことで、地域の様々な世代の方たちが集い、つながることで笑顔が生まれ、立川市の未来につながる活動を支援していく施設でありたいと考えています。

### 立川まんがぱーく

各世代の代表的なまんがを幅広く豊富にそろえ、自由に閲覧できます。幼児向け絵本・学習まんが・育児まんがも数多く取り揃えています。小さいお子様を連れて家族みんなで楽しんでもらえるように授乳室等も完備しました。

立川まんがぱーくの入り口には、カフェコーナーを設置しており、飲食も楽しめます。

入場料：15歳以上 400円、小・中学生 200円、未就学児 無料

開館時間：平日午前10時～午後7時、土曜・日曜日、祝日午前10時～午後8時

休館日：年末年始

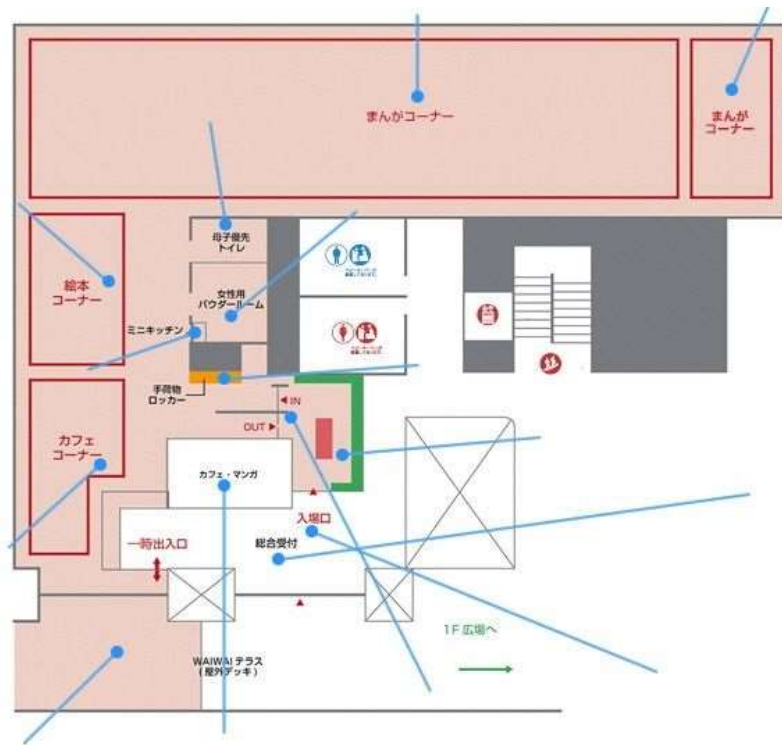
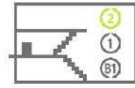
広さ：約687㎡



# 平面図

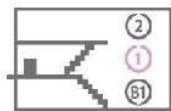
2階

②



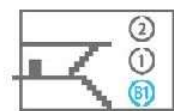
1階

①



地下1階

B1



指定管理者：株式会社丹青社

こどもクリエイティブタウンま・あ・るは、清水駅前の複合ビル「えじりあ」の3・4階にある、こどもたちを対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学ぶ施設です。

### 3階 こどもバザール

～こどもたちがつくるまちで活動、体験することで、こどもたちの創造力を育む～

子どもたちが考えた店で商品をつくり、それを売ったり、稼いだお金（疑似通貨）で買い物を楽しんだりしながら、社会や経済の仕組みを体験できる「こどものまち」です。

### 4階 こどもファクトリー

～こどもたちの自主性や創造性を育む活動を、商店街や企業・大学など地域とともにつくりあげる～

わくわくアトリエ、デジタル工房、クッキングスタジオ、なんでもホールなどの諸室での、ものづくりや仕事体験のプログラム、商店街や企業、工場などに行き体験するプログラムを多彩に展開します。

本施設では、こどもたちを対象に講座・研修会や模擬店舗等での商品製作・販売体験など仕事やものづくりの体験学習を行うとともに、企画展の開催や情報コーナーの設置など仕事やものづくりについて理解を深める場を提供します。

これらの体験学習や事業は、現実の企業活動等に触れたり、体験したりできる場であるとともに、仕事やものづくりの本質を伝えられる「本物体験」の場であることが重要であり、本物体験の担い手として、現実に仕事やものづくりを行っている企業・団体のみなさまのご協力が不可欠であると考えています。

入館料：子ども無料 大人(18歳以上)310円

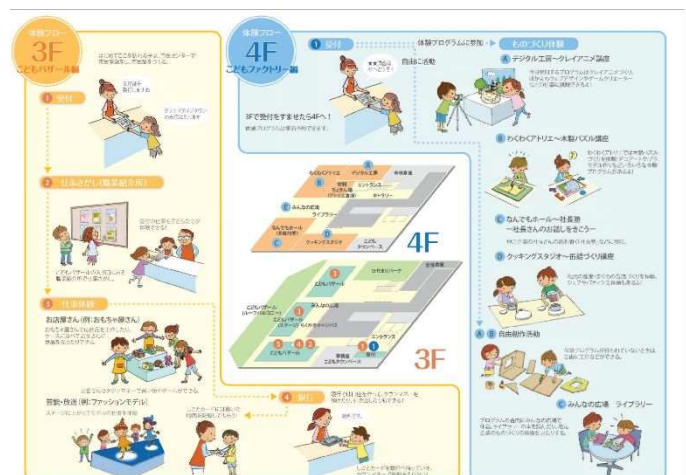
開館時間：午前9時30分～午後5時30分

休館日：水曜日、年末年始

広さ：約 1,800 m<sup>2</sup> (各階約 900 m<sup>2</sup>)



清水銀行のしごと





施設外観



希望丘青少年交流センター（アップス）は、主に39歳までの若者が気軽に立ち寄り、思い思いに過ごすことができるフリースペースで、いつでも、気軽に使える若者のためのフリースペースとして開設されました。若者一人ひとりの「やってみたい」、「やってみよう」をサポートする専門スタッフ「ユースワーカー」が地域の方々と一緒に応援します。

希望丘青少年交流センター、愛称「アップス」は一人で気軽に、友人との交流の場に、大きなイベントや小規模のワークショップなどにもお使いいただけます。勉強・遊び・音楽・スポーツ・料理などと利用の仕方は人それぞれ。予定なく、ふらりと来られる方も大歓迎です。

施設には自由にくつろぐことのできる多目的スペース、音楽・ダンス等の表現活動のできる多目的ホールのほか、学習室、音楽スタジオ、調理室等、様々な機能を備えています。

### 希望丘青少年交流センターの特長

#### (1) 若者や地域の参加・参画、協働による運営

平成30（2019）年2月に、公募による若者と地域の関係団体の代表者による「運営準備委員会」を設置し、利用ルールやプログラム、地域ネットワークの構築、施設愛称の公募などの検討を進めてきました。開設後は「運営委員会」として、施設を利用する若者の意見なども積極的に取り入れながら、若者・地域との連携・協力しながら運営しています。

#### (2) 愛称

区民公募による121点の愛称の中から、若者の「高揚や成長、躍進」をイメージするとともに、「一人ひとりにそれぞれのアップがある」、「仲間とともに」、「多世代が交流して」などの願いを込めて、運営準備委員会が選定しました。

#### (3) キャッチコピー

「家にも学校にもないものを」

“若者が安心して自由に過ごすことのできる居場所づくり”や“若者に社会や地域の一員であることを実感してほしい”、“地域の力が若者の力に。若者の活動が地域の力に”などの願いが込められています。





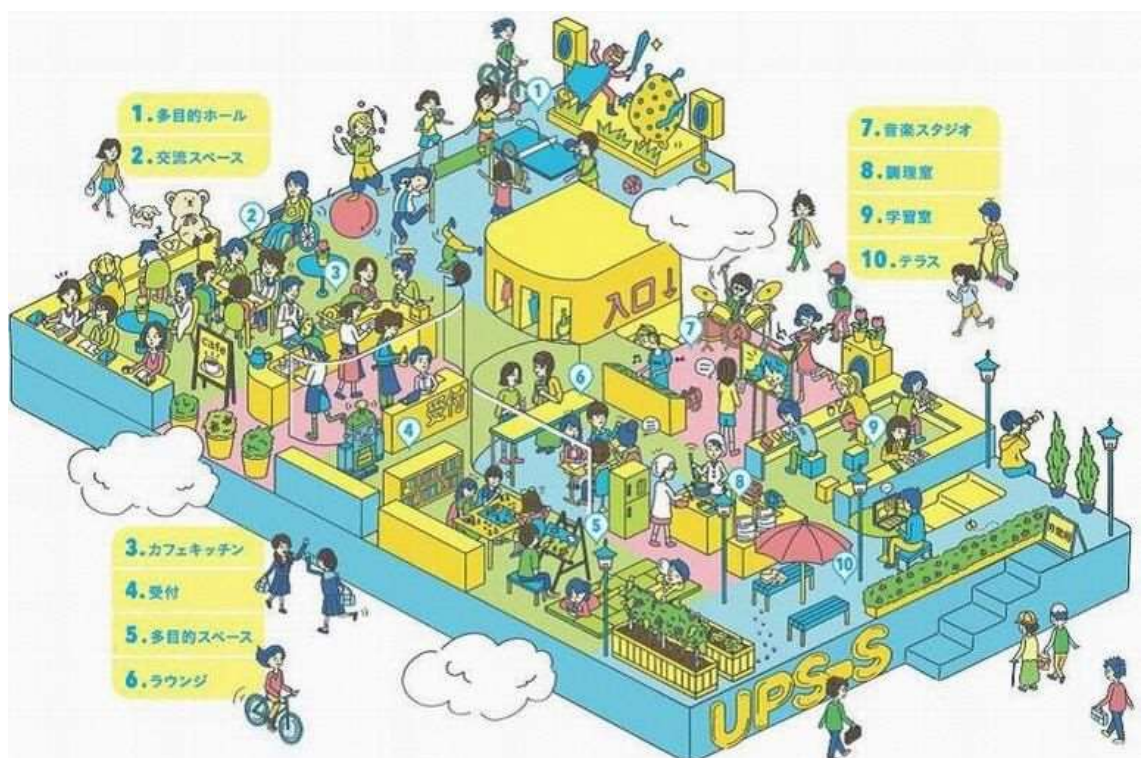
アップスには、さまざまなスペースがあります。友だちといっしょにスポーツやダンスをしたり、バンドの練習をしたり、勉強をしたり、1人でぼーっとしたり、スタッフとのおしゃべりを楽しんだり、さまざまな使い方が可能です。

多様な価値観の大人と出会う「せたがや大人図鑑」一人ひとりの「やりたい」を実現する「アクション」併設の体育館を利用した「SPORTS プログラム」などさまざまなプログラムを実施していきます。

利用料金：子ども・若者 無料

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：年末年始、月1回の保守点検日



## ゆう杉並

<https://www.suginamigaku.org/2019/07/suginami-youth.html>

杉並区内唯一の中高生のための児童館

住宅地の真ん中、荻窪1丁目にあるゆう杉並は、区内唯一の中高生のための児童館。

小学生も利用できるが、利用者の約6割が高校生、2割が中学生で、2018（平成30）年度は1日平均約180人が訪れた。ふらっと一人でくる子もいれば、グループでスポーツやバンド練習をする子もいる。

施設の運営についても、「中・高校生運営委員会」（以下、運営委員会）を設置し、中高生自身が運営に関わって、職員と対等の立場で意見交換をしながら、より過ごしやすい居場所になるよう工夫している。

### 施設案内

#### 地下1階 体育室・ゆうカフェ

体育室では、団体予約が入っていない空き時間に、譲り合いながらバスケット、卓球、バドミントンなどのスポーツを楽しむ。ゆうカフェでは、調理やクラフトに挑戦できる。

#### 1階 ロビー・ゆうホール

ロビーはテーブル席とカウンター席が計90席ほどあり、飲食も可能。利用者はおしゃべりをしたり本を読んだり、勉強やゲームをしたりして、それぞれの時間を過ごせる。ロビーの入り口にはダーツコーナーもある。

ゆうホールは多目的に使える場所で、バンドやダンスのライブも開催される。

普段は収納してある電動開閉式112席の座席と照明設備を備えているほか、舞台の壁面はフリークライミング用の壁になっており、ボルダリングやトップロープクライミングに挑戦することもできる。

#### 2階 スタジオ・ミキシングルーム

3つあるスタジオは、講習を受ければバンド練習に使える。ミキシングルームは本格的なレコーディング機材、映像編集機材を備えており、ビデオ編集やデモテープづくりが可能。また、液晶ペンタブレットを使ってアニメイラストも描ける。

利用料金：無料

利用時間：午前9時～午後9時

休館日：第2・第4月曜時、年末年始



3mと6mのボルダリングに挑戦できる、ゆう杉並自慢のフリークライミング設備

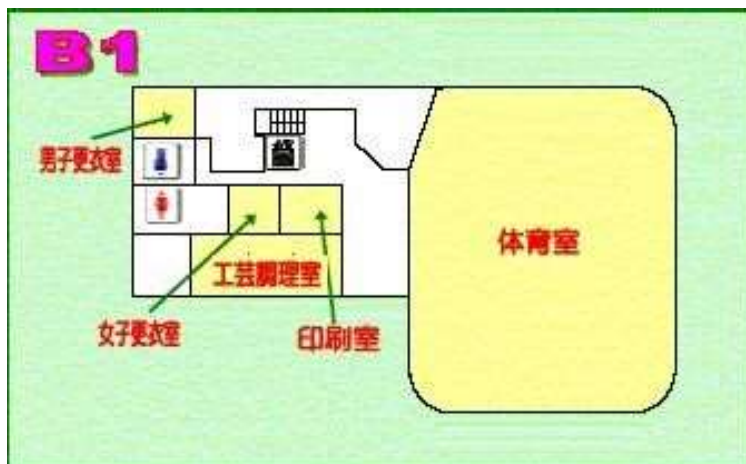
ゆう杉並（杉並区立児童青少年センター）



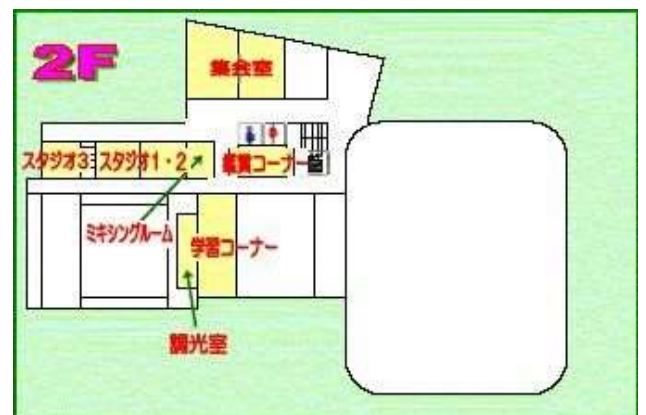
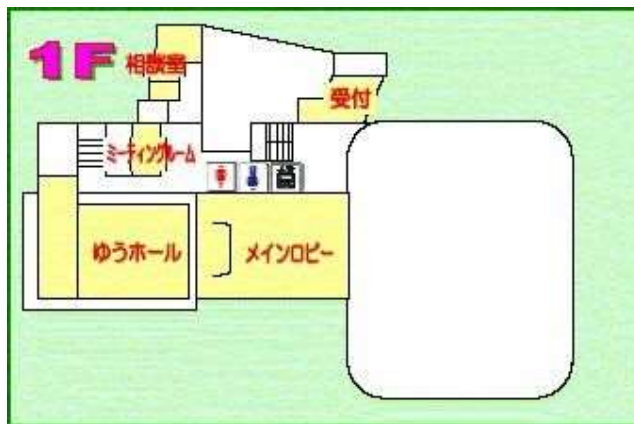
誰もが自由にくつろげるロビー



平面図



工芸調理室は、カフェスペースもあり飲み物を飲みながらのんびり過ごせる場所。材料費を払えばクッキングなども。



## 武蔵野プレイス

<https://www.musashino.or.jp/place/>

指定管理者：公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団

武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスは、「武蔵境のまちづくりの推進」の一環として、西部図書館を移転拡充し、図書館機能をはじめとして「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せ持った複合機能施設という方向づけのもとに設置されました。

### 武蔵野プレイスの理念

「武蔵野プレイス」は、図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センターなどといったこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人と人が出会い、それぞれが持っている情報（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざしています。

武蔵野プレイスは、人々の交流が自然に生み出される質の高い「場」を提供し続けることによって、生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづくり、ボランティア活動、市民活動、生涯学習、福祉、教育といった横断的な活動や交流のネットワークの活性化を促します。

多様な人々がそれぞれの活動を通して時間を共有する快適な空間（場）は、地域社会の魅力を高めることに寄与します。

「場」＝「プレイス」ということばには、このような期待が込められています。

### 「ルーム」とその連続性

内部空間は、本を捜したり情報を集めて編集したり、勉強をしたりという知的活動にとって心地よい場となるよう、ルームというひとまとまりで人のスケールに馴染む場が連なる形状となっています。それぞれの空間は、壁と天井が曲面でつながったシェル（貝殻）状のかたちになっており、身体的な居心地のよさをもたらすようにデザインされています。

### ブラウジング性

さまざまな異なる活動に対応するように、各階は大きさの異なるルームが、次々とつながることによってできています。ひとつのルームに入ると、次のルームへ導かれ、回遊（空間ブラウジング）がごく自然に行われることを期待しています。

それぞれのルームでは別々の活動が行われていて、参加しても素通りしてもよく、街路や広場をめぐり歩くかのような体験となります。

何気なくひとが集まってくる場所、そこにいることが心地よく、くつろいだ気分でのいろいろなことができる場所、思わぬ出会いや発見があり、活動が活動を呼ぶような「場」となることをめざしています。



## 4つの機能

図書館をはじめ生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の4つの機能を備えた複合機能施設です。

それらの機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひととが出会い、それぞれがもっている情報を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、まちの活性化が図れるような活動支援型の施設をめざします。

### ○図書館機能 滞在型の図書館

武蔵野市立図書館の分館として、赤ちゃんからお年寄りまで生活や学びに役立つ情報を提供できるように図書資料の収集を行っています。またプレイスの基幹機能として、他の機能と連携・融合するために、図書フロアを分散配置させフロアごとに特色をもたせることで、多様な利用目的に対応することができます。来館される利用者のさまざまなライフステージに対応した滞在型の図書館です。

### ○生涯学習支援機能 さまざまな学びの欲求に応える

知ることに親しみ、学ぶことを求める人々の知的な好奇心に応え、学びたいときに、いつでも学び始めることができる「場」として、人それぞれの生涯学習スタイルに合った環境を提供しています。また、市民や地域の教育機関・団体・企業・施設と連携して、多様な生涯学習事業を実施しています。

### ○市民活動支援機能 市民活動の「出会い」と「場」

市民活動に必要な環境の提供・情報の収集・広報支援・相談業務を行い、現在活動している個人や団体、またこれから活動を始めようとする人に対しての支援を行っています。登録団体は、簡単な打合せや軽作業を行うワークラウンジや、印刷ができるプリント工房、またロッカーやメールボックスも利用することができます。市民活動情報コーナーでは、市民活動に役立つ書籍等の資料閲覧ができ、団体ファイルによる団体情報発信の場になっています。

### ○青少年活動支援機能 居場所づくりから地域へ

地下2階の「ティーンズスタジオ」をベースに、青少年が気軽に安心して過ごすことができる青少年の居場所づくりを行っています。勉強・読書・遊びなどさまざまな過ごし方ができるフロア中央のラウンジをはじめ、楽器演奏やダンス、料理や工作ができるスタジオ、卓球やボルダリングができるスペースがあります。さまざまな講座やイベントへ参加してもらうことで、青少年同士が関係性を構築し合い、将来的に地域社会へ積極的に参画できる力を育てていけるよう、未来を担う青少年それぞれに合った活動支援をしています。



アート&ティーンズライブラリー



スタジオラウンジ



オープンスタジオ



## 大和市文化創造拠点シリウス

<https://yamato-bunka.jp/>

指定管理者：やまとみらい（（株）図書館流通センター、サントリーパブリシティサービス（株）、（株）小学館集英社プロダクション、（株）明日香、（株）ポーネルド、横浜ビルシステム（株）

「心に響く・心が躍る・心をつなぐ」

大和市文化創造拠点は、子どもから大人まで多くのみなさまに、芸術文化や生涯学習の素晴らしさ、新しい知識・人々との心弾む出会いをお届けし、みなさまの心に一体感を生み出す場として誕生しました。中核を成すのは、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場。4つの施設はそれぞれの個性の融合により更なるエネルギーを生み出し、未来につながる創造力を育むとともに、みなさまの芸術文化活動の道標となり、日々進化を遂げてゆきます。

小田急線と相鉄線が乗り入れる大和駅から歩いて3分、陽光に照らし出される建物が、図書館を中心に、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場が入った複合施設「文化創造拠点シリウス」です。

この施設は、開館から3年で累計来館者数1000万人を超えた図書館で、来館者数は日本一と言われていています。

図書館は、静かに本を読んだり、調べたりする場所。大和市は、このイメージを変える図書館を作りました。シリウスでの主役は、本ではなく人。本を読むということを大切にしながら、いろいろな人が笑顔で過ごせる場所にしたいと考えています。

来ていただいた方が「ずっといたい」「また来たい」と思ってもらえる、シリウスならではの工夫をご紹介します！

### ○コーヒーを片手にのんびり読書

館内に一步入ると、3階まで吹きぬけのあるエントランスホールと、コーヒーの香りがあなたをお迎えします。1階にはカフェが併設されていて、ここで買ったものを含め、館内全てで飲み物と一緒に本を楽しめます。



エントランスホールとスターバックスコーヒー。空間的に連続している（写真：茂木俊輔）

### ○チケットを買ってラグジュアリーに過ごす

2階の窓際には、勉強、ビジネス、読書、歓談など、さまざまなシーンでご満足いただけるよう、より座り心地の良い椅子と電源、有線LANを備えた有料スペース「市民交流ラウンジ」をご用意。使い方も簡単で、券売機でチケットを買うだけ。休日には、順番待ちができるほど人気の高いコーナーとなっています。



○「図書館でお静かに」はもう古い！？図書館で楽しもう！

3階は、遊んで学べる「大和こどもの国」。子どもたちが思い切り楽しめるような空間となっています。赤ちゃんから楽しめる絵本や児童向けの本、さらには紙芝居など、お子さんの年齢に応じたおすすめの本を揃える「こども図書館」の中に、「こどもシアターブース」、「こども読書室」があります。また、親子の読み聞かせなどに利用できる「おはなしのへや」も人気です。

そのほか0歳～2歳までの乳幼児の親子がおもちゃなどで楽しく遊べる「ちびっこ広場」や、有料となりますが「げんきっこ広場」があります。ここでは3歳から小学校2年生を対象に、専門のスタッフがボーンルンドプロデュースの遊具を使い、さまざまなあそびを提案します。



3階の屋内こども広場（写真：茂木俊晴）

○会話もOK。くつろぎながら読書を

4階は「健康都市図書館」。健康に関する本が集まっているだけでなく、実際に血管年齢や脳年齢を測定する機器で、体のことを調べることもできます※2。またここでは、だれもが心休まる時間を過ごしてもらいたいと考え、本以外にも、新聞、雑誌、漫画を多数ご用意しています。特にまんがコーナーは、子どものころに夢中になった思い出のシリーズから、最近はやりの作品まで、充実の品ぞろえとなっています。

○「図書館といったらこの雰囲気」という方はここに

5階は、クラシカルな図書館のフロア。静かな空間で読書だけでなく、勉強したり、調べ物をしたりといったことが、思う存分できます。中でも、一人の時間に集中できるよう、一席ごとに間仕切りを設けた読書室は人気のスペースとなっています。

○ぷらっと休憩。テラスで息抜きも

読書や勉強に疲れたら6階の「ぷらっと大和」へ。歓談や食事がOKな交流スペースで、テラスに出ることもできます。

施設 業務	芸術文化 ホール	図書館	生涯学習 センター	子育て 支援施設	市民課 連絡所
貸館・窓口	指定管理者				行政
事業の 企画・実施	行政				
施設の 維持・管理	管理組合（行政も含む）				

シリウスに入っている各施設の業務分担（資料：大和市）

## 長野県立図書館（信州・学び創造ラボ）

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/guidance/atsumaritai/manabilabo.html>

信州・学び創造ラボは、「共知・共創ー共に知り、共に創る」をコンセプトとし、人と人がつながり共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指しています。そのため、多様な人々の自由な活動を実現するための運営方法やルールなどは「みんなで考えていく」ことを大切にします。

### ○モノコトベースーアウトプットからはじまる学び

「信州・学び創造ラボ」は、「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトとした、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値を生み出す場です。また、“ここで獲得したものは、誰かに還す”ことを理念に、みんなと共に学び、共に創る場を目指します。

したがって「モノコトベース」にある機器も個人単位での利用は目的としておらず、興味・関心が重なる仲間とともに“コミュニティ”をつくり、他のコミュニティと交流しながらアウトプットしていくための道具として設置しています。

### ○Co-Learning ゾーンー多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにしていく

ワークショップやミーティングなど、グループでの活動が、それぞれらしく楽しく実現できるエリアです。自由に好きな場所を選んで過ごしてみてください。

### ○信州情報探索ゾーンー信州の「知の営み」を体感する

県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書や、戦時中に検閲処分を受けた資料などを手に取って見ることができる、110年にわたる信州の知の営みを感じられる部屋です。信濃図書館設立に向けて奔走した人々や戦時中の図書館員、それぞれの「知ること」に対する想いが垣間見える書棚の中に、今だからこそそのデジタルな情報源も埋め込みました。地域の「今まで」と「これから」を考えるひとときの中から、これらの資料に積み重なる新たな情報を創る活動が生まれていくことを期待しています。

### ○ラボ・デザイン会議／ラボ・カフェ

「信州・学び創造ラボ」は整備段階からその空間デザインや運営のあり方について、さまざまな方と一緒にワークショップで議論を重ねてきました。

ラボ・デザイン会議では、ラボの運営に関するルールやこの空間でやってみたいことなどを、ジブンゴトとして考え、実際の活動につなげていく3時間程度のワークショップです。

ラボ・カフェでは、デザイン会議よりもカジュアルに、コーヒーやお茶などを飲みながら、時にはちょっとした料理を作って食べながら、みんなで話す会です。訪れた人同士がにつながり、新たな「やってみたい！」が生まれる場となっています。



ラボでは、ワークショップやミーティングなど、誰かと一緒に「知る」活動があちこちで展開されている

## 図書館

みなさんが心地よく、それぞれの「知る」を手にしていただくために、さまざまな空間と居場所を用意しました。これまでの図書館のように、静かに本と向き合うだけでなく、話しながら、アウトプットしながら、共に知り共に創る場でもあります。

その時々にあった空間を選んで、ひとりで、あるいはみんなと、いろいろな過ごし方を楽しんでください。また、自分だけの心地よさだけではなく、多様な他者と互いを尊重しながら、共に自由である「公共空間」を創りましょう。

## 児童図書室

児童図書室の基本コンセプトは「体験、発見、やってみ!？」

親子や友だち同士で絵本をメディアに心をかよわせるワクワクの新しいデジタルメディアで世界に触れる百科事典クイズをみんなで解きながら、情報の海を渡る技を身につける  
図鑑と双眼鏡を持って、ストライダーに乗って公園へGo!など「体験の貸出」もしています。

ボードゲームでコミュニケーションしたり、コーディングゲームでプログラミングに親しんだり、ことばだけではなく、五感を使って「なるほど！」な実感ある知を手にしてほしい。  
子どもたちのワクワクがとまらない、そんな新しい「知る」の実験室を目指します。



ものづくりができるデジタル機器を揃えたメイカースペースでは、実際にアウトプットしながら「知る」体験ができる

## 信州・学び創造ラボ



「共知・共創(共に知り、共に創る)」をコンセプトとした「学ぶ」は、人と人がつながり、共に学び合い、新たな社会的価値が創出されていく場を目指しています。多様な人々の自由な活動を実現するための様々な工夫が凝らされています。これからの図書館や公共空間のあり方を考えるための実験場でもあります。  
信州のこれからの学びの姿を試し、体験できる場所として、ぜひ自由に活用ください。

## 信州・学び創造ラボ全体図



**函館蔦屋書店** <https://www.hakodate-t.com/>

民間：CCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社） 2013年12月開店

構造：鉄骨造地上2階

敷地面積：30,966.12㎡ 延床面積：9,508.44㎡ 駐車場：650台

入居店舗：

函館蔦屋書店、ポーネルド（玩具）、verdeCHIOSCO（生花）、ファミリーマート、  
コスメショップ、スターバックス、&（カフェレストラン）

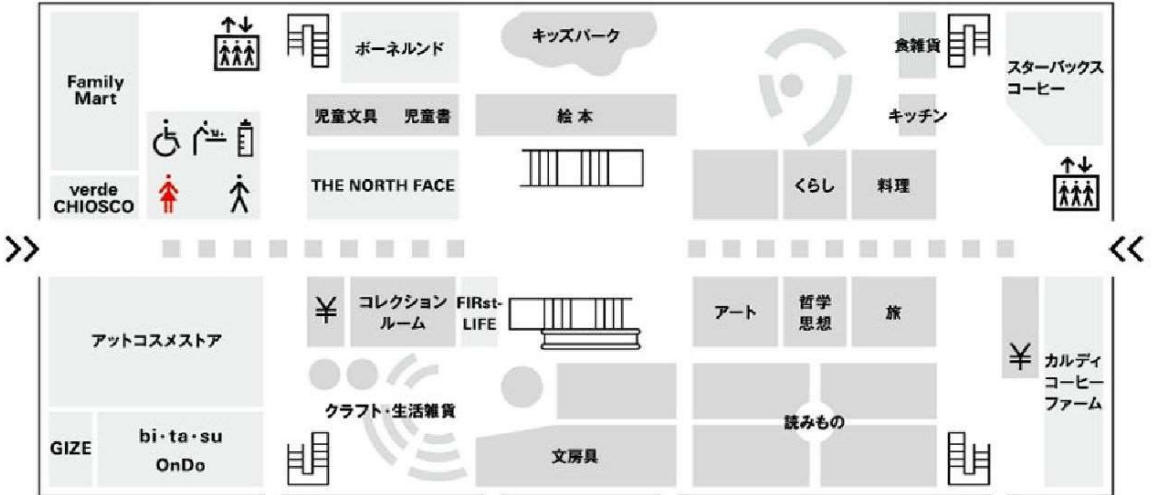
### 函館蔦屋書店とは

- ・もう、商業施設をつくるだけで、地域がいきいきとする時代ではありません。
- ・買い物だけならネットでもいい。求められているのは、ゆっくりと過ごせる空間でした。
- ・本とおいしいコーヒーがあって、家族や友達とおしゃべりしたり、子どもたちもワイワイできる場所。学校や職場以外の、いわゆる第三の活動の場としても使える。働く人たちが、お客さまと名前呼び合うようないい距離感もできる。
- ・ものを買う場所は、ヒトもコトもつながる場所であるべきだと思います。
- ・函館蔦屋書店がめざすのは、これからの時代のスタンダード。地域のみなさんが気持ちよく過ごせる”居場所”になります
- ・函館蔦屋書店には、コンシェルジュが在籍しております。
- ・コンシェルジュは、文学、旅行、映像などそれぞれ専門の分野を持っており、その分野に対する深い知識をベースにお客様のご相談に対応いたします。

（専門分野）コンシェルジュ

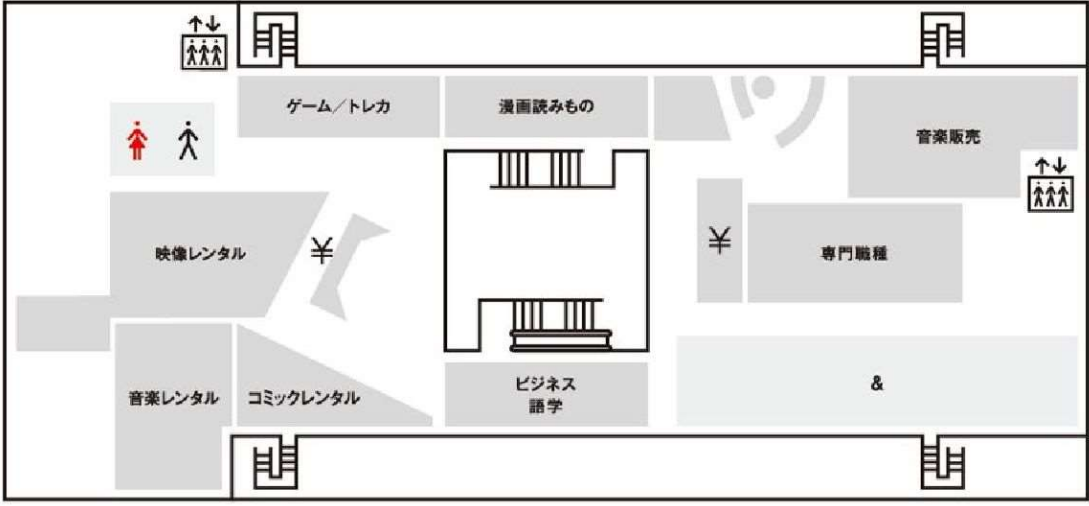
- ・旅・歴史・専門書・アート・児童書
- ・哲学、思想・映画・音楽
- ・コスメストアカウンセラー





蔦屋書店（生活雑貨、本、こども、小部屋とマガジンストリート、文房具  
コレクションルーム）

コンビニ、キッズパーク、ヘアサロン、フラワーショップ、ヘアサロン、  
アウトドアショップ、コーヒー店、カフェ、アパレル雑貨、ヨガスタジオ  
エステサロン



蔦屋書店（音楽、ビジネス・専門職種、コミック、ゲーム・トレカ、レンタル）  
カフェレストラン

**蔦屋書店系列**

代官山 T-SITE（蔦屋書店）、中目黒蔦屋書店、銀座蔦屋書店、六本木蔦屋書店、  
二子玉川蔦屋家電、羽田空港蔦屋書店、湘南 T-SITE、柏の葉 T-SITE、  
浦和蔦屋書店

ずかんミュージアム銀座

<https://zukan-museum.com/>

民間：ずかんミュージアム有限責任事業組合

(佐々木ホールディングス(株)、(株)小学館、(株)エイド・ディーシーシー

(株)ドリル、(株)電通、(株)サニーサイドアップ、(株)朝日新聞社)

開設：2021年7月 東急プラザ銀座6階 11時から20時

入場料：大人2,500円、中・高校生1,700円、小学生1,200円、未就学児900円



図鑑の世界に入り込む新感覚の体験型デジタルミュージアム。

書籍「小学館の図鑑 NEO」シリーズからピックアップされた生き物たちに出会い、その息吹を感じる、デジタルとリアルが融合した新感覚の体験型施設。

### 体験内容

空間や時間の経過と共に“地球の自然”を五感で体感。

冒険には、旅のナビゲーターとなる「記録の石」を持ち歩きます。「記録の石」の役割は主に3つ。生き物が近づいたことを“検知”、名前や行動を紹介し“記録”すること。そして、旅のおわりに冒険の“振り返り”をすることです。

冒険は、混在したさまざまな生息地を行き来します。

施設内は5つのゾーンで構成し、雑木林の中をアリ目線で探検する体験ができる「アントビューゾーン」、川の生き物を紹介する「ウォーターフォールゾーン」、暖地の森と寒地の針葉樹の生き物を紹介する「ディープフォレストゾーン」、世界各地の淡水にすむ生き物を紹介する「アンダーウォーターゾーン」、サバンナのような草原や草がまばらに生えた乾燥地帯にすむ生き物を紹介する「ワイルドフィールドゾーン」があります。

エリア内では、1日を24分に凝縮。記録の石の“力”が発揮される2日間の旅の中で、沢山の生き物に出会い、記録していくことがポイントです。





## 冒険のナビゲート

この世界で多くの発見と学びを得るために、“不思議な力を秘めた道具”があなたの冒険をナビゲート。生き物に近づくと、その生き物の記録のためのヒントを伝えてくれる。



## 立川 PLAY! MUSEUMとPARK

<https://play2020.jp/>

民間：PLAY! プロジェクト

(コスモマーチャンダイズィング、ブルーシープ、A&B ホールディングス)

開設：2020年6月 時間：平日10時から17時 休日10時から18時

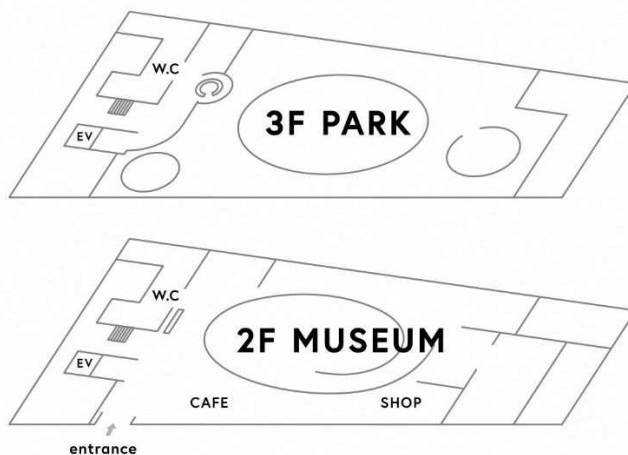
入場料：Museum 大人1,500円 大学生1,000円 高校生800円 小中学生500円

Park 大人1,100円 3から12歳2,500円 3歳未満2,000円

### 概要

PLAY! によろこそ! 「ありそうでない」があふれています。

立川駅北口にオープンした新街区「GREEN SPRINGS」に、美術館と子どもの遊び場を中心とする複合文化施設「PLAY!」が誕生しました。



### MUSEUM

PLAY! MUSEUM (プレイミュージアム) は、絵とことばがテーマの美術館。

絵本やマンガ、アートの本格的な展覧会を行います。

有名な絵本作家の世界を紹介する「年間展示」と、五感を使って体感的に楽しめる「企画展示」の、ふたつの展覧会を同時に見ることができます。

年間展示「ぐりとぐらの幸せの本」展 2021年4月10日～2022年4月10日

企画展示「柚木沙弥郎(染色家)life・LIFE」 2021年11月20日～2022年1月30日



これまでの展覧会 (年間展示)「エリック・カール 遊ぶための本」

(企画展示)「tupera tupera のかおてん。」

「がまくんとかえるくん」誕生50周年記念 アーノルド・ローベル展 他



## PARK

PLAY! PARK（プレイパーク）は、子どものための屋内広場です。

身近な素材でできた遊具を使って、子どもが自ら遊びを見つけ、大人も一緒になって楽しく過ごすことができます。造形や音楽のワークショップや、親子で参加できるプログラムも豊富です。

遊び方は子どもが決める！合言葉は「未知との出会い」。白くて柔らかい〈大きなお皿〉や〈ファクトリー〉など 7 つのエリアで、身体を使った遊びやワークショップを楽しもう。



**大きな皿** 柔らかい〈大きなお皿〉では定期的に入れ替えられるユニークな大型遊具で遊んだり、縁を走ったりすべったり、寝転んだり、思いっきり身体を動かすことができます。

**スタジオ** 手づくりの楽器でリズム遊びや、グランドピアノも自由に演奏できます。



**ライブラリー** 日本や海外の絵本が700冊以上そろっています。座って、寝転んで、好きな姿勢で心ゆくまで絵本の世界をたのしんでください。

**シアター** 多摩美術大学学生による「タマグラアニメーション」を上映しています。

## 関連施設

二子玉川 PLAY! PARK ERIC CARLE 2021年11月開設 ショッピングセンター8F 『はらぺこあおむし』の作者 エリック・カールの理念を継ぐ、遊んで学べる新しい場 エリック・カールの世界観をテーマとした、国内初のインドアプレイグラウンド施設 緑の迷路、ディスカバリーゾーン、アスレチック、オートマタ（からくり人形）、さまざまなワークショップなどブースを行き来しながら、子どもたちは遊びの中から学びます。

## 山田緑地×パルパーク・プロジェクト

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/04800046.html>

指定管理者：九州造園・グリーンワーク共同事業体

### 山田緑地

山田緑地は、およそ 140 ヘクタールの広域公園で、自然環境を守りながら市民の憩いの場として活用するため、北九州市は芝生広場や自然観察路を整備して、1995 年（平成 7 年）に「北九州市立山田緑地」がオープンしました。

北九州市では、この森を守り・育て・学びながら、遠い未来の人々に自然保護の大切さを伝えていくために「30 世紀の森づくり」を進めています。

### パルパーク・プロジェクト

北九州市では、山田緑地において自然を楽しむ・学び、自由に遊ぶことで子どもの健全育成に資する遊び場の企画・整備・運営を株式会社小学館『BE-PAL』が進める公園づくりプロジェクトとの連携事業として進めることとしました。

「子どもたちにたくましく生きていく力を！」を基本コンセプトに子どもたちが自然を楽しみ、学び、自由に遊べる理想の公園をつくるプロジェクトです。

「30 世紀の森」づくりの考え方による自然管理とパルパークの考え方による遊びの空間づくりのコラボレーション。

これが山田緑地×パルパーク・プロジェクトです。



### 焚き火の学び場

森を守るために木を切る。

切った木からつくった薪はパチパチと燃える火となり暖かさと穏やかな気持ちを与えてくれます。人と自然との関わりの歴史の中で「火」は大きな存在です。

焚き火の学び場では「火」を使い、理解する取り組みを進めています。



子どもと大人が協力して作り上げた「焚き火の学び場」



# 山田緑地パルパーク通信

令和三年十月 第42号

令和三年十月十六日(土)・十七日(日)に、秋の山田の森フェスタが開催されました。あいにくの雨となった初日は焚き火体験が中止となりましたが、十七日は冷え込みが強まり焚き火体験日和となりました。



焚き火の学び場に参加者が集まって、山田緑地の里山再生とパルパークの概要を伝えました。冬季に行っている焚き火等の火を使った体験です。



体験イベントのため、小さな焚き火を各参加者グループで体験してもらいました。  
火の便利さと怖さ、自然の資源の活用と大切さなどを子ども達は真剣に聞いてくれました。  
早速、焚き火の準備です。周辺より材料を集めます。枯葉や小枝など乾いた物を集めました。着火の前に火起こしの準備は重要です。



ファイヤースターターを使って麻ひもをほぐしたホクチに着火していきます。火花を飛ばす練習をして上手く着火して歓声があがっていました。その後、焚き火を継続するために火を育てます。目標は灰の状態を終えることです。  
初めての体験で戸惑っていた参加者も最後には上手に炎を上げた焚き火を楽しみました。  
感染症拡大が落ち着くと、飲食等も焚き火で楽しむ事ができます。秋の山田の森フェスタのパルパークイベントで焚き火体験を行いました。

山田緑地管理事務所



## 太田市美術館・図書館

<https://www.artmuseumlibraryota.jp/>

運営：太田市（所管課：文化スポーツ部 美術館・図書館）

※管理運営の一部を一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団に業務委託

敷地面積：2,331.76m<sup>2</sup> 延床面積：3,169.09m<sup>2</sup>

構造：鉄筋コンクリート造（RC造） 地上3階 地下1階



### 創造的太田人

太田市美術館・図書館は、まさに創造性をもたらす、知と感性のプラットフォームです。

太田市美術館・図書館は、「ものづくり」を通して育まれてきた太田市民の創造性を、これからの「まちづくり」に生かしていくための拠点となることを目指します。

太田市美術館・図書館は、斬新な発想により人々の感性を刺激する多彩な美術作品と、創造的発想の源泉となる広範な知識を提供する図書資料を、同時に閲覧できる場所を提供します。そのことにより太田市民に内在する創造性を開花させると

ともに、創造性あふれる市民とともに、まちに広がり、中心市街地に賑わいをもたらすプロジェクトを多彩に展開していきます。太田市美術館・図書館は、太田市の未来を担う「創造的太田人」を育成します。

- 太田市に蓄積されてきた創造の遺伝子の収集と調査研究
- 世界の最先端の感性やクリエイティビティに触れる機会の提供
- 次代を担う人材、プロジェクトの育成

### 建築 建築家 平田晃久

この建物は、人々の流れをもう一度駅前呼び戻し、駅前の街並みを歩いて楽しい魅力あるものに育てていくためのきっかけとして構想されました。

私たちはその構想に応えるようにして、建物の基本的な考え方をつくりました。

- 駅からの人の流れを建物の中まで引き込むために、様々な方向に出入口をつくり、通り抜けできる街の一角のような建築をつくる。
- 企画展示室等の箱に緩やかなスロープが巻きついた構成とすることで、建物上部まで連続した道のような空間をつくる。スロープに沿って様々な場所に閲覧エリアを設け、緩やかな起伏のある街の外部空間のような雰囲気をつくる。





- 箱状の部分は頑丈なコンクリートでつくり、屋上に土を入れて緑化する。全体として緑の丘のような場所ができ、テラスや屋内に木漏れ日が降り注ぐ、居心地のよい環境をつくる。
- 外からはガラスを通して内部の人の動きやアートが見え、中に入りたくなる雰囲気をつくる。また、図書館や美術館からお互いがいかに見えるようにし、人の流れを誘発する。
- 美術館の企画展やイベントに関連して、図書館の一角にそれと連動した企画図書コーナーを設け、美術館と図書館との連携を意識し、お互いの活動がまじりあうような関係を目指す。

### ワークショップ みんなで北口をつくる

これは太田の駅前に人々の活気を取り戻すための建築です。建物が完成しても、本当に完成したことにはなりません。たくさんの人々が歩き、思い思いの時間を楽しむ、生きた場所になる必要があるのです。

設計のプロセスはこうした考え方を反映しています。太田市民の方々とワークショップをしながら、専門家も交えて議論し、たくさんの重要な決定を行いました。

図書館と美術館がからみ合うようなゾーニングや、箱の個数にいたるまで、この話し合いの中で決めたのです。



### 総合ディレクション

美術館事業、図書館事業、美術館・図書館共同事業など極めて多岐にわたるプロジェクトを着実に推進するにあたり、開設当初から2年間は、専門的知識を有する事業者による運営の指導・協力を求めるディレクション業務委託を実施

委託期間：平成28年度、平成29年度

委託業者：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

### カフェ&ショップ 店舗名：キタノスミスコーヒー

プロポーザル方式により選定した事業者がテナントとして営業。飲み物や軽食を提供するほか、トートバッグなどの美術館・図書館オフィシャルグッズや図録の販売も行っている。

## スターバックスコーヒー nonowa 国立店サイニングストア

[https://www.starbucks.co.jp/press\\_release/pr2020-3511.php](https://www.starbucks.co.jp/press_release/pr2020-3511.php)

2020年6月27日(土)、国立市に聴覚に障がいのあるパートナー（従業員）を中心に、主なコミュニケーション手段として手話を使用し、運営する『スターバックス コーヒー nonowa 国立店』をオープン。

この店舗は、聴者と聴覚に障がいのあるパートナーが共に働き、多様な人々が自分らしく過ごし活躍できる居場所の実現を目指した、スターバックスのダイバーシティ&インクルージョンを象徴する店舗の一つです。

### スターバックスコーヒー日本のCEO 水口貴文氏

「店舗のコンセプトは“*Infinite Possibilities* (無限の可能性)”。私たちパートナーの夢を店舗という形にしました。聴覚に障がいのあるパートナーやお客様にとって、ありのままの自分で居られる場所であり、障がいのある若者にとって夢や未来を描ける場所、そしてこの店舗を訪れた誰もが新たな気づきを得られる場所になればと考えています。」

### 手話の世界により楽しく触れていただくために

- 指文字で表現した STARBUCKS サイン
- 手話を学べるデジタルサイネージ導入。商品の受け取り番号も表示
- 手話でのオーダーに加えて、音声や指差し、筆談でも注文可能



- アートで学ぶ手話。店舗の世界観を表現した作品を展示

店内を彩るアートでも、手話の世界に触れていただけます。

スターバックスならではの作品のタイトルは「Talkative hands (おしゃべりな手)」。アートにはあいさつや、スターバックスにちなんだすぐにでも使いたくなるたくさんの手話が描かれています。

## 店内



### 【お客様へのお知らせ】

当店では手話を用い、聴覚の障がいの有無に関係なくパートナー(従業員)がともに働き、皆様をお待ちしております。

スターバックスが取組むインクルーシブな環境と機会の創出についてはこちらからご覧ください。

お電話に応答できない場合がございます。お問い合わせはまず、次の「よくあるご質問」でご確認ください。



**国分寺駅北口再開発**

昭和 40 年頃から検討が始められ、平成 16 年より再開発事業の見直しに着手し、見直しを踏まえ、東街区の「cocobunji EAST」、西街区「cocobunji WEST」を平成 30 年 3 月に竣工し、令和 3 年 2 月に再開発事業が完了した。

**施設のコンセプト**

“国分寺らしさ”を発掘する再開発

かつて武蔵国分寺を有したこの地域に脈々と受け継がれてきた豊かな自然や深い歴史を“国分寺らしさ”とし、ファサード（※建築物の正面部分のこと）や自由通路のデザインモチーフとして展開。まるで武蔵国分寺跡地で行われている発掘作業のように、埋もれていた街の個性を“出土”し、街の顔となる駅前空間へと“保存”、再構築することで、施設利用者への“報告”となる空間を目指しました。



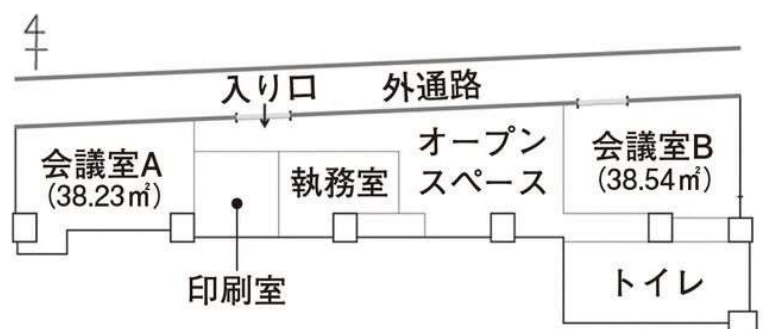
cocobunji EAST



cocobunji WEST

◎ 「cocobunji EAST」(主に商業施設、公益施設、住宅)

- 建物の外周部に半屋外型の立体動線を通すことで、回遊性のある、路面店の延長のような施設の在り方を目指しました。
- 高層棟は国分寺の「歴史」を表現した色彩計画としました。西街区と対比させることで相互補完的なデザインとしています。
- 公益施設は、3階に「アクティ・ココブンジ（こくぶんじ市民活動センター）」が整備され、市民の多様な活動を支援し、交流と連携の場を創出するとともに、地域の活性化の推進を図っています。





「cocobunji WEST」(主に商業施設、公益施設、住宅)

- 多様な方向へ建物の出入口を設けることで、駅北口に広がる幅広い動線のどこからでもアクセスしやすい施設計画としました。
- 高層棟は国分寺の「今」を表現した色彩計画としました。東街区と対比させることで相互補完的なデザインとしています。
- 5階に公益フロアを整備し、国分寺市の魅力を発掘・発信するまちのぶんかターミナルとする「cocobunji プラザ」と市民サービスコーナーを設けています。cocobunji プラザは、多目的に使用できるリオンホールやリオン広場、カフェスペースなどを有しています。また、1階に国分寺市案内所と設置されています。



指定管理者：(株)京王設備サービス  
NPO 法人めぐるまち国分寺  
(株)カフェローカル

### カフェローカル (姉妹店 カフェスロー)

都心の近くにありながら、国分寺は古い歴史と豊かな自然や農の風景がいまなお残る稀有な町です。サブカルチャーが育つ文化的風土も持ち合わせ、個性的な商業施設も数多くあります。また、近隣には多くの大学が存立し、学園都市の機能も発揮しています。

つまり、国分寺は多様な個性と機能を持ち合わせた魅力ある町なのです。一方で、均一化という社会全体の大きな流れの余波は、国分寺にも押し寄せてきています。

そこで私たちはこの国分寺という地域社会を見つめ直し、さらに魅力を深めていくための創造の拠点として「国分寺ローカル」をテーマにしたカフェをオープンすることにしました。

- ◎できる限り地域で生産される食材を生かした料理や飲み物を提供します。
- ◎多様な分野で活動されている市民や団体とのネットワークを生かします。
- ◎併設のリオンホールとの連動で、国分寺ローカルの文化発信の拠点を担います。
- ◎国分寺の良さを再発見する「あるもの」探しの発表・交流の場にも活用していきます。
- ◎何よりも、国分寺をこよなく愛する市民の憩いの場になることを願っています。

**豊島区パブリックトイレプロジェクト**

TPTP は、Toshima Public Toilet Project（としまパブリックトイレプロジェクト）の略で、豊島区が平成 29 年度(2017 年度)に重点事業として掲げている「パブリックトイレの大改造」の愛称のこと。これまで、区民の皆さんと一緒にまちを考える「FF ミーティング」でもテーマにあがった公園のトイレ問題。従来のトイレのあり方を見直し、より使いやすく愛される「パブリックトイレ」として生まれ変わらせるためのプロジェクトです。



Toshima Public Toilet Project

としまパブリックトイレ  
プロジェクト**としま区民センター**

2019 年秋に庁舎跡地にオープンする、Hareza（ハレザ）池袋内にできるとしま区民センター 2 階、3 階のトイレは、日本最大級の 35 ブースの女性トイレのほか、広々としたパウダーコーナーやフィッティングスペースが設けられ、女性にやさしい機能が充実。

併設の 2 階『パパママ★すぽっと』には授乳室や親子トイレ、おむつ替えスペースなどもあるほか、あらゆる人が利用する公共施設のトイレとしてユニバーサルデザインは大前提。通常の男子トイレ、女子トイレのほか、「多機能トイレ」、「男女兼用トイレ」を設けました。

ラグジュアリー感のある 3 階女子トイレ。ゆったりとした空間に、さまざまなタイプのスタイリングコーナーが設けられている。

2 階  
親子トイレ

3 階には女性用だけでなく男性用トイレの向かいにも、メイクルームとフィッティングルーム（イベント時の着替えなどを考慮）が備えられています。



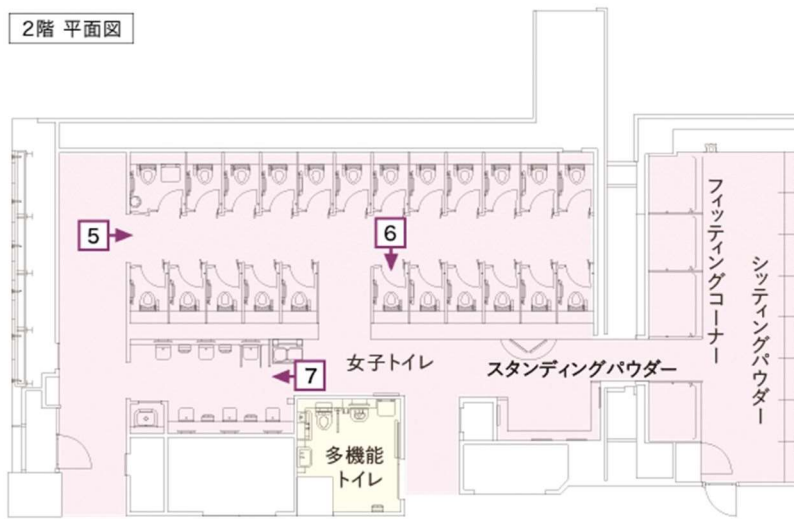
女性用



男性用

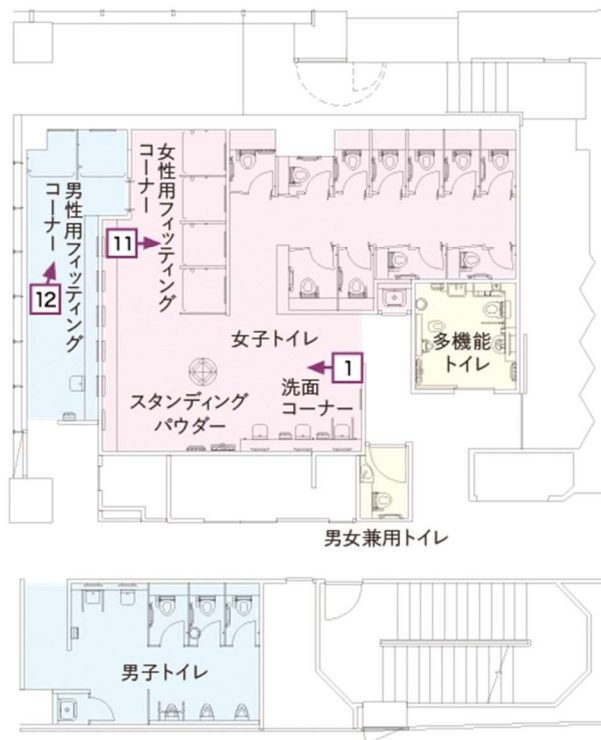
# としま区民センター トイレ等平面図

2階 平面図

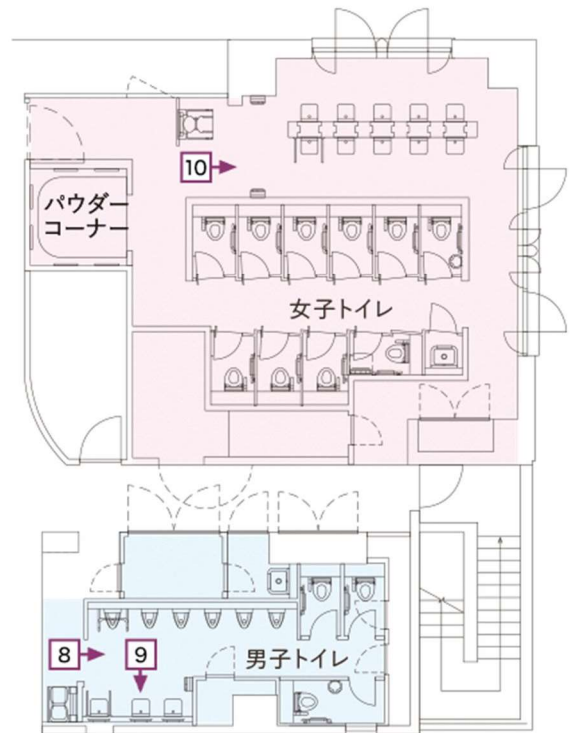


- 2の2階パバママ☆すぽっと
- 3の2階おやこトイレは  
図面外のスペースに設置されています。
- 4の案内板は1階ロビーで撮影しました。

3階 平面図



8階 平面図





## 渋谷 PARCO

<https://www.parco.co.jp/advantage/shibuyaparco.php>

株式会社 PARCO

敷地面積：5,385.95 m<sup>2</sup>、建築面積：4,669.63 m<sup>2</sup>延床面積：63,856.03 m<sup>2</sup>

建物階数：地下3階、地上19階、塔屋1階

施設内容：個性的な店舗や劇場、インキュベーション施設、先進的オフィス、広場等を有機的に配置

### “次世代型商業施設” 渋谷 PARCO

2019年11月22日、新生渋谷 PARCO が誕生しました。

渋谷エリアは、変化に富みさまざまな価値観や文化の融合が進む個性豊かなエリアであり、最近では独特な文化の発信拠点として海外からの来訪者も多く、ますます発展が期待される世界的にも注目度の高い都市の一つです。

新しい渋谷 PARCO は、これまでの渋谷 PARCO と同様に PARCO の基幹店舗という PARCO のブランドイメージそのものの役割を担い、さらなる街の活性化に貢献していきます。



### 渋谷 PARCO の社会的な取り組み

#### (1) 次世代の人材育成

##### ① 次世代を担うクリエイターの発掘

9階に、「人材育成」を目的とした、10代に向けたクリエイティブ・スクール「GAKU」を併設するクリエイティブスタジオを開設しました。2020年4月には教育配信事業「Inspire High (インスパイア ハイ)」との業務・資本提携契約を締結し、10代向けのネット教育配信事業を提供する中心拠点として「GAKU」と連携する予定です。

##### ② 産官学民連携組織との新しい形での連携

渋谷区が主体の「一般社団法人渋谷未来デザイン」の事務所が渋谷 PARCO 内に移転しました。

## (2) 地域貢献（街づくり）

### ① 街歩きしやすい環境作り、渋谷のにぎわいの形成

周辺の歩道や敷地内の広場を整備し歩行者のスペースを拡充することにより、まちのにぎわいと回遊性を高める歩行者ネットワークを形成しています。

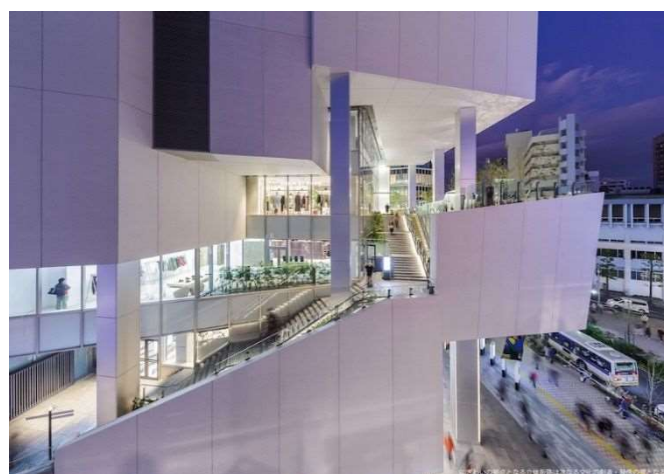
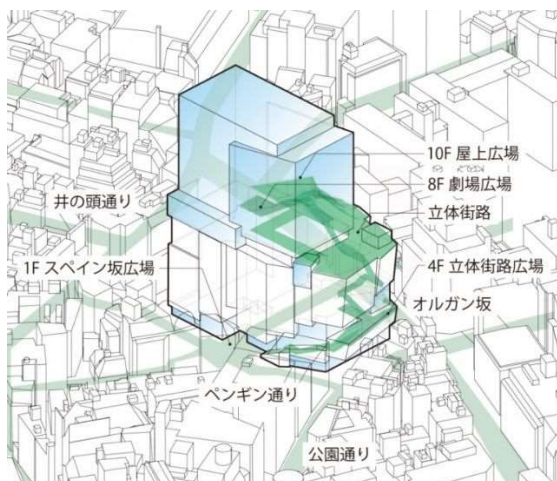
### ② 地域の課題への取り組み

街歩きの妨げとなっている路上荷捌きや路上駐輪や防災性の向上、環境負荷の低減に対する具体的施策を実施します。

- 地域共同荷さばき場の整備
- 駐輪場のビル内設置
- 帰宅困難者支援機能の整備
- 環境負荷低減の取組

### ③ 渋谷の街を取り込んだ、渋谷 PARCO の建築意匠

渋谷の特徴である「坂」と「通り」に注目し、通路・階段をスペイン坂かららせん状に建物外周に沿って 10 階までつなぐことで（立体街路）、街と融合した建物となっています。坂と通りの街の構成を建物に取り込み、渋谷ならではの次世代の「街」をつくることを意図しています。



## (3) 環境に配慮した次世代型ビル

外部環境の快適度やビルのエネルギー利用状況をデジタルサイネージで発信するデジタルコミュニケーションによるエネルギーの効率的利用促進や、ガスコージェネレーションシステムを中心とした高効率エネルギーシステムの導入によるビル全体のエネルギーの効率的な運用の促進が評価され、「サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）」として国土交通省より採択されました。


### 渋谷 PARCO の 5 つの構成要素

渋谷 PARCO には、約 190 の個性あふれる魅力的なショップが出店しました。「FASHION」「ART&CULTURE」「ENTERTAINMENT」「FOOD」「TECHNOLOGY」の 5 本の柱で構成し、それぞれのジャンルをミックスし、お互いの魅力を引き出しあうように各フロアを編集しています。



# 荒川区再開発事業一覧図

令和3年12月現在


 再開発区域（予定含む）

**町屋駅前西地区(個人施行)**  
 ・事業完了.....H1年3月  
 ・地区面積.....0.2ha  
 ・延床面積.....4,741㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗



**町屋駅前中央第一地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H9年2月  
 ・地区面積.....0.5ha  
 ・延床面積.....27,020㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所、  
 公益施設(ムーブ町屋)、  
 駐輪場


**町屋駅前中央第二地区(個人施行)**  
 ・事業完了.....H8年9月  
 ・地区面積.....0.1ha  
 ・延床面積.....4,826㎡  
 ・主



**町屋駅前東地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H2年8月  
 ・地区面積.....0.6ha  
 ・延床面積.....20,489㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、  
 公益施設(町屋文化センター)




**町屋駅前南地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H19年9月  
 ・地区面積.....0.6ha  
 ・延床面積.....42,013㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗等



**白鬚西地区(東京都施行)**  
 ・事業完了.....H22年3月  
 ・地区面積.....48.8ha



**ひぐらしの里北地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H23年3月  
 ・地区面積.....0.4ha  
 ・延床面積.....42,590㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所等



**西日暮里駅前地区(組合施行)**  
 ・都市計画決定.....R3年6月  
 ・地区面積.....2.3ha


**三河島駅前北地区(組合施行)**  
 ・都市計画決定.....R3年6月  
 ・地区面積.....0.6ha

**三河島駅前南地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H27年9月  
 ・地区面積.....0.5ha  
 ・延床面積.....36,680㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所、  
 駐輪場等



ルートにつぼり

**ひぐらしの里中央地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H23年3月  
 ・地区面積.....0.7ha  
 ・延床面積.....52,800㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、駐輪場、  
 事務所(都税事務所)等



**ひぐらしの里西地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H23年3月  
 ・地区面積.....0.3ha  
 ・延床面積.....22,256㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所等



**東日暮里五丁目地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H14年3月  
 ・地区面積.....0.7ha  
 ・延床面積.....28,907㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所、作業所



**南千住西口駅前地区(組合施行)**  
 ・事業完了.....H24年3月  
 ・地区面積.....0.8ha  
 ・延床面積.....32,652㎡  
 ・主要用途.....住宅、店舗、事務所(区民事務所)、  
 (区民会館)等

